愛國婦人會機關（愛國婦人會の目的は軍人の遺族及び癈兵を救護するにあり）

愛國婦人

本號附錄（本號には總裁殿下顧問招宴の光景と靖國神社臨時大祭の光景を附錄とす）

愛國婦人會總會

愛國婦人會第五回總會は、本日を以て、新宿御苑に開かる、當日は畏れ多くも皇后陛下には行啓あらせられ、親しく本會の事業を聞召され且優渥なる御令旨を賜はる、誠に本會の光榮、會員の名譽此上やあるべき、且恩命の難有さに恐懼感激措く所を知らず、各〻益〻奮勵本會の爲に盡し、以て其忠召の萬一に答へまつらんことを期せざるを得んや、且曩に靖國神社臨時大祭に當り、軍人の遺族が種々の優遇を受けたる中にも、新宿御苑の拜觀を以て、特別なる優遇の一として、人民にては軍人の遺族にして、始めて受け得べき特權として、遺族は其恩命に感泣したることなるに、今般本會が其總會を、同じ御苑に開くの特許を得、本會の會員たるが故に、普通の婦人が其總會に列し、御苑拜觀の稀有なる機會に遭遇するを得たるは、會並に會員に取りては、また非常なる榮譽と云はざるを得ず。是れ全く會及び會員の各々が、戰爭中は勿論、戰後の今日に至るまで、能く軍人遺族及び癈兵救護の爲に、誠意熱心盡力したるの結果に外ならず、即ち本日の總會には、參會者は過ぎにし盡力勉勵を回顧して、種々なる出來事を語り草に、充分慰勞と愉快とを取るべきなり。過去に於ける本會の事業に對しては、畏き當りを始め陸海軍人及び社會一般の充分認識し、推賞する所にして、會及び會員は十二分の報酬を精神的に得たるものなり、要するに愛國婦人會は少くも過去に於いて成功せるの會なり。然れどもそは過去の事なり、會の事業は將來に於て益々發展せざるべからず、唯過去の手柄を吹聽し、過去の仕事に滿足するは、國家としても、個人としても、發達止まり、希望失せたるものゝする事なり、愛國婦人會は此の如き會にあらず、前途に多大の仕事を控へ、益々會員の奮勵努力に待つべきものあるなり。軍人や遺族及び癈兵の境遇は、戰爭中よりも、戰後に於て一層悲慘なるものあり、戰爭中は世の同情厚く、氣も張り居たれば、苦痛も割り合堪へ易かりしも、平和の曉、世は常の生活に復し、人は劒に代ふるに鋤を以てするに至て、始めて戰死戰傷より受けたる打擊痛痍は、其痛みを增し來りて、靜寂の中に徐ろに他事なく之を味はざるを得ず、それ殆んど人間の堪へ得る最大の苦痛たらずんばあらず、もし死よりも苦しき生なるものあらば、彼等の生は即ち是れなり。大觀兵式に醉ひ、大招魂祭に醉ふて、戰爭に關するすべては、全く終りを告げ、帳消しとなりたるが如く思ひ、軍人の遺族、廢兵の漸く世人より忘れられんとするに當り、現今は勿論永く之を忘れざる者、忘るゝ能はざる者の、少くも五十萬人が、日本の婦人間に在ることを、彼等の記憶するとき、彼等は精神上言ふべからざるの强みと、慰安とを得べきや必せり、然れども俗にも背に腹は代へられずと云ふが如く、遺族癈兵の最も急を感じ、困難を感ずるものは、心の糧よりも、胃の糧なり、暮らし向きなり、文句は滿腹を與へず、於是本會の第一に要するものは、資力なり、乃ち今回の總會を機として、大に會員の增加を謀り、資力の充實を期せざるべからず、思ふに全國より總會に列せられたる會員諸氏は、充分此意を領して、歸來益々此事に盡力せらるゝならん。五十萬の會員を有する婦人會は、我國は勿論、世界に於ても稀有にして、誠に偉大なるに相違なきも、會の目的を實行して遺憾なからしめんには、五十萬は尚不足なり、五十萬は七十萬、七十萬は百萬と益々會員を增さゞるべからず。明年の總會は如何なる統計を會員に就て示すか、如何なる成績を本會は擧ぐるか我等の刮目して待つ所なり。而して今回の總會は過去の慰勞たると共に、實に將來に對する此奮勵の申し合せを意味するものなり。尚終りに會及び會員に向て別に希望として開陳したきものあり、そは會の副事業なり、既に前回の總會に際し述べたるが如く、愛國婦人會は、日本婦人の道義心の結晶なり、日本婦人を最も遺憾なく代表せる精神的團結なり、即ち會は婦人の、及び婦人を通じて、男子の、換言すれば日本國民全體の道德、品性の洗練の源となり、風俗改良の原動力となり、敎育、慈善、保護慰藉等の社會的事業の最も有力なる唱道者及び實行者となり、其他家庭生活の改良、社交の融和及び發達、婦人の位置の向上に努め、勤勞の習慣を養ひ、共同事に當るの風を興す等、本會が間接に既に行ひ、若しくは將來行ふべき事は甚だ多く、何處まで本會は仕事の出來るものか、其影響は何處までに及ぶべきか、殆んど測り知るべからざるものあり、婦人會としては、實に是程賴もしく希望に滿てるの會あらんや。愛國婦人會が如何なる事を行ひ、如何なるものになりつゝあるかは、獨り會の問題にあらず、日本全國の問題なり、國家問題なり。我等は本會及び會員が此盛大にして名譽ある總會を機として、靜に前途の事業に就て熟考せられんことを望むものなり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

論叢

中流以下の家庭

内務大臣　原　敬

▲戰後の政策　戰後經營として國力を充分に發展せしむるには、如何なる方法を執るが善いかに就いて、諸國に於て戰後執りたる政策を見まするに、大資本家と云はるゝ人に奮勵盡力せよと云ふよりも、寧ろ中流の資本家に發奮を促すのが適當なる方法かと認めます。

▲貧富の懸隔　日本に於ては昔貧富の平均を努めた爲め、社會に大資本家なるものがありません、是れは當時の政策の結果であつて、一方から云へば甚だ善良なることでありますが、國家の富を增進せしむる手段としては良き政策とは云はれません、今日の如き社會では、生存競爭上人夫れ〴〵の自由なる働きに任じて、富裕なるものの出來るのも又た止むを得ぬことかと思ひます。

▲資本の集合　日本は今日の所個人個人の資本に格別の懸隔が無い以上、中流の生活を爲すものが國の基を爲すものであつて、此人々の資產を集めて大いに爲すある機にすることが必要である。

▲自己の利益　凡そ世間の事業は悉く國家的には往かぬもので、自己の利益を先づ願て、自己を富すことを第一に置き、此の利益の蓄積せし結果自ら國家に貢獻することになるのであります、故に國家のみの利害より打算して、總ての人に國家の爲に働けとは申さぬが、併し其の働く可き範圍が國家の利益と相併行して往く事を希望するのであります。

▲町村の自治　自治權の行はるゝ基礎は町村にあるのであるが、日本には古來自治の精神が幾分町村に在つた爲めに、今日では法律に依つて其の發達を促し、實行を期して居りますが、是れを完全にするには結合力を盛んにすると云ふことが一般の急務であります、町村の人民が互ひによく結合せぬ時は、完全な自治行政は擧らぬのであります。

▲婦人の結合　町村の人民が結合すると云つても、夫れが男子ばかりでは表面は濟んでも裏面が治まりませぬ、同じく國民たる婦人もまた結合するやうに心掛けなければなりませぬ、近來種々の婦人團體が出來て來て、夫れ〴〵活動して居るのは誠に欣ぶべき現象であると思ひます、何うかこの氣運をしてます〳〵盛んならしめたいものであります。

產業の發達

農商務大臣　松岡康毅

▲戰後の經營　誰しも戰後の經營は、農商工の發達を計らねばならぬと云ふが、只大言壯語する許りて實行的の事が伴つて居りませんが、口よりは先づ行ふと云ふ方針てなければなりません、凡そ一國の富は一家の生計より起るのでありまして、一家の生計さへ裕になれば、一國の基礎も鞏固になる次第であります。

▲些少の注意　一家の生計と云ふが如きことは、是れを個々に放して見ますと、誠に僅少なことのやうでありますが、是れが集れば大ひなる力を爲すのであります、假令へば水の湧き出づる源は僅かに杯を浮べるに足らない程でありますが、是れが集れば大海となつて巨船大舶を浮べると同じやうなものでありますから、個々の力を集合して事業を爲す、所謂組合組織と云ふことが必要であります。

▲農家の副業　デンマークに於て千八百六十年頃より鷄卵を作る組合が出來ましたが、是れが二十四年の後には一ヶ年千六百餘萬圓の輸出を爲すに至つたと云ふことであります、是れ等は一家の副業に過ぎぬのでありますが、斯くの如く僅少なることをも善く始末をして行つたならば、十八億の國債を返却する位ゐのことは容易であると思ひます。

▲農家の婦人　日本の生產物中、輸出物の主位を占めて居る絹糸の如きは、婦人の手に依て成るものでありまして、都會の人が遊樂に耽り居る間に、農家の婦人は男子と同樣に勤勞して生產事業に從事し、國家の富を增しつゝあるのであります、故に美しく着飾られたる都會の婦人よりは、質朴にして壯健なる農家の婦人こそ國家の礎石であります。

歐米の婦人（下）

日本女子大學校學監　麻生正藏

▲紐育の活動婦人　紐育に參つた時クーパー、ヒューウキット會社の頭取クーパー氏の設立にかゝる、クーパーユニオンと稱する女子の實業學校を參觀しました、其時校內にある參考品陳列場を觀て正に辭し歸らうとして居る所へ、一人の婦人が來て滿足の參觀が出來たか否かを問ひ且つ、なほ本校に就きて調べたきことあらば事務室に來られよと云つて私を事務室に案內し、同校の歷史幷に現在の狀況を詳細に說明して吳れました、私はこの婦人を書記位ゐの人と思つて居りました、所がこの婦人はクーパー氏の姪でトウーウイットと云ひ、非常な財產家の令孃であるにも拘らず、每日〳〵この學校に出勤して監督の任に當つて居られるのでありました、而してこの婦人は富裕な身分でありながら、服裝などは至つて質素で人に對して甚だ謙遜で、また親切であるのに尠からず感心しました。

▲家庭敎育の完備　斯う云ふ活動的婦人を作り出だす所の家庭は何うであるか、是非とも一見して置く必要があると思ひましたので、米國の家庭を見たいと話しましたところが、御覽になる程のものではないが一度拙宅を訪ふて吳れとのことでありましたから、日を約して訪れました、すると家族は勿論のこと、親戚の方までが遠來の客に面接するのを悅んで、多數集つて優待されました、私は家族方の居間から臺所まで拜見しましたが、夫れらのことは傍で置いて、一番感心しましたのは子供の家庭敎育であります、この家には佛獨等の外國語も出來る立派な女敎師が雇つてあつて、家庭に於ける子供の敎育を司つて居ります、而して家庭敎育の內で最も力を盡して居りますのは體育で、是れが爲めに廣い運動遊戲室が設けられてあつて、其處には體操器具やらピアノ等の樂器類も備へ附けてあつて、每日親類の子供が此所に集つて愉快に遊むで居ります、其他起床就寢は申すまでもなく、總て規律を守ることが嚴重で、幼稚い時から正しき生活及び獨立心を養ふ敎育を施して居ります。

▲盛んなる夜學校　米國人は敎育熱心者と知られたる程あつて、晝間の敎育が進步普及して居るのみならず、夜間の敎育もなか〳〵盛んであります、小學敎育を了へて後、實社會へ乘り出して生活の道を求めつゝあるものは、盛んにこの夜學校を利用して、自個の進步發達を計つて居ります、この內には十五六歲の少年男女もありますが、四五十歲の老年男女もあります、また身分に於きましても貧富いろ〳〵であります。

▲敎育熱心の實例　私は紐育滯在中同市夜學校視學官の案內で二三の夜學校を參觀しました、其の內に女子の夜學校で五十歲ばかりの婦人が代數を勉強して居るのを見ました、校長はこの婦人を私に紹介して申しますのに、この方に一人の男の子があります、其の子が本年中學に入學しましたが、この母なる人は代數を學むだことがありませぬ故、子を敎育する上に多大の不便を感ずると云つて、斯うして夜學に通つて居るのであるとのことでありました、是れを見ても如何に米國人が敎育に熱心であるかゞ知れます、また親が其の子女を敎育するに學校にのみ一任せず、自ら是れが保護監督に力める爲め、從つて米國人は絕えず進步活動して居るのであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

小說

初夏の光

三島霜川

若葉の中に少し後れたが藤も咲いてゐる。杜若は、池の汀を繞りて、紫、白、しぼりをこきまぜて、花の色は鮮麗に、影は水に映つてゐた。花壇の方には、牡丹も莟を破りかゝッてゐた。五月の末、初夏の風、僅に熱を含むで、青葉若葉を飜し、木立といふ木立、梢といふ梢、枝といふ枝、さては、あるか無きかの、小草の花までが、日光に閃き、爽な氣を放ッて、のび〳〵としたゐた。

秋津子爵家のお庭は廣い。都下でも名園の一ッに數えられてゐる。此の名園て今日しも園遊會が催されて、一門親族はいふまでも無い、同族の誰彼、知己舊蕃士、凡そ子爵家に關係のある者は殘らず招かれたと謂ッても可い。何んの爲に催されたのかと謂ッたら、子爵家の嗣子となる養女の披露！……

養女は環と謂ッて、今年十六。實は、子爵のおとし種であッたが、此の度同族某の娘分となッて、改めて此の邸へ迎へられたのであッた。日蔭に咲いた一輪の名花は、花壇に移されたのである。環の歡はいふまでも無い、父子爵の悦と滿足とは、何樣なであッたらう。子爵には、環の他に子が無かッた。もう五十幾ッといふお年になられて子が無かッた。されば、養嗣子の問題は、五六年前から、或は夫人から、或は親族の方から、または家令家扶から、屢子爵の耳に囁かれたのてあッた。雖然子爵は其の度に頭を振ッて、これといふ因も謂はずに同意されなかッた。夫人はいふまでも無い、何れも眉を打顰めて、子爵の思慮を不思議としてゐた。

遂に此の不思議の蓋が割れた。子爵は、或時夫人に向ッて環の事を打明けられた。環の生母は、嘗て此の邸に召使はれたお小間使であつた。成程十五六年前の秋、夫人が下野の別莊から歸られると直に突然暇を願つて邸を退ッた。雖然夫人を始めとして、誰も邸を退ッた因を知る者が無かッた。子爵の口から、始めて夫人の耳に囁かれたのである。而して其の環の生母は、今に節を守ッて、子爵の保護も受けず、獨力を以て環を扶育してゐることを話し、出來ることならば、此の自分の血と魂しを受けて生れた子に家を嗣がせたいと話されたのであッた。而も

子爵の話は、夫人へ謝罪を意味し、懺悔を意味し、自分は人として此の生涯の過失——秘密を墓の底まで運んで行くに忍びず、また人の親として、一人の子を日蔭者にして置くに忍びぬと說かれ、よしや世の笑、人の嘲、闇の恥を明みへ出しても、それは自ら贖ふた罪の報として、夫人さへ承諾して呉れたならば、其に取定めたいとの意を漏らされた。

夫人は、思も掛けぬ所夫の自白に、ただ呆れて居られたが、固より賢夫人と稱えられたほどの人、理には敏い！能く所夫子爵の意を察して、潔く其に同意された。そして自ら奔走盡力して、一門の反對を押へ、また親族の不服を說伏せて、養女といふ名を以て環を迎えられたのである。迎えられたのは、ざッと一年ばかり前のこと。其の披露の園遊會！

環は、賑な、そして壯んな庭の光景を見ると、何やら氣怯がして、何うにも庭へ出て見る氣にはなれなかッた。それて御殿の——それも人氣の少ないところに片寄ッてゐたのであッたが、介添の家庭敎師が傍から嚴しく、

「さ、貴方、其樣なにお氣のお弱いことでは可けません。少しお庭を出て見ませう。其樣なにはにかむで在らッしては仕樣が無いではございませんか。」

「それでも何んだか……」と環は何うも氣が進まぬらしい。ところへ、夫人が、忙しい中を拔けて來て、

「環さん、何うして此樣なところにゐるのです。彼方へゐらッしやい……私も一所にね。」と手を把ッて引立てんばかりにする。

幾ら極が惡いと謂ッても、幾ら氣怯がすると謂ッても、此の場合となッて、豈夫に駄々を捏てもゐられない。環は思切ッて、義母の後に從き、家庭敎師を縋る杖と頼むで、何うやら此うやら庭に下りた。餘興場の方では、今しも太神樂の連中が、頻におどけた藝を演じてゐる。それには眼も呉れず、婦人等の多く集ッた方に進むと、若葉の中に薫ずる衣香、若葉を透く日光に煌く簪影。光彩燦然として眼は眩かんばかり。綺羅を盡して、づらりと駢んだ貴婦人令孃。環の姿ゝ見ると、宛然に待設けてゐたやうに此方に眼を注がれる。

環は、嚇として了ッて頭が擡がらぬ。妙に、氣が、わく〳〵する。これではならぬと氣を落着けてゐながらも、何んだか落着かない。其の間に、如才のない、そして場馴れた二三の婦人は、笑ましげに環を迎えて、所謂交際語なる品の好いお世辭を浴せかけた。

環は、多く口を利かなかッた。雖然ただ少し顏を赧めてゐたばかりて、其の應對は、節に適ッて、氣品も備はり、無愛想てもなく、傍から見てゐて、決して見苦しくはなかッた。子爵家の令孃として恥しからぬ態度であッた。殊に純潔にして蟠の無い心は、邪氣無き顏に現はれて、何んとなく人を引付ける力がある。これが巧なお世辭の代となッて、多くの貴婦人令孃は、此の成上りの令孃に向ッて、誰も豫期せぬ尊敬と同情とを拂ッたのであッた。それて環自身よりも、義母夫人父子爵は、吻ッと胸を撫て下ろした……撫て下ろしたばかりで無い、他の令孃に較べて、顏なり、姿なり、態度なり、少しも見劣のせぬので、自づと誇らかな心も出て來るのであッた。此くて環は、貴婦人令孃の集りに加はッて、此の園遊會に於ける衆目環視の花となッた。日蔭の花は、遂に花壇の花となッて了ッた。父子爵が懺悔と、義母夫人の淑德とに依つて花壇に移された花！……あはれ此の花の生涯の運命の光れとや、空には、初夏の日光朗に輝いてゐた。

貞操にして賢く怜悧なる妻は、母となりては、子を善く育つるに足る、而して、斯かる子は必ず大人物となるべし。（巴利文雜一阿含經）

夏げしき

なつ姫

滴るやうな翠の若葉、それが黑味を帶びて青葉となる、もう梅雨に近くなつた△野外は麥秋、埃に霞む中から晝の鐘、それが夏の響をする△椀豆の花は散ッて、野川の水のさゝ濁り、道行く人、野ヶ耕す百姓、何れも木影のなつかしい頃となッた△何所にても古い麥藁帽子の影が見える△楠や、椎や、樫のやうな常盤木の大木でも、去年の古葉をふるひ落して綠の若葉をつけてゐる、ツマリ新樹になッたのだ△さて市は、何所の町にも氷屋の赤毛布が目に付くやうになッた△夏の果物の魁なる枇杷は、今が盛り。林檎や蜜柑、冬の果物がしなびて來た。其の代に夏蜜柑が大層幅を利かしてゐるが、其の間に苺が出て來て果物好の喉を鳴らさせることでせう△例に依ッて苗賣が好い聲て眠たさうに苗の數を呼擧げて歩いてゐる△金魚も世の中へ出て來ました△花では杜若、魚では鰹、これが此の頃世に時めくものと謂ッて可いでせう△サッパリした單衣を着るのも、もう十日かそこらのうちてす△螢も出て來ました△百合は咲き候、若葉の山に……其の淸新な景色に接するのも直てす。そして花瓶に那の夢を見てゐるやうな花を生けて樂むのも！△夢と謂へば、此の頃の晝寢心地の好いこと、謂ッたらない△綠蔭窓を壓して、室は薄暗い、そこて香でも炷いて新茗を味はッてゐたら、それて人生のユートピヤてす。

ふとすれば日の射す窓や柿若葉

御濱離宮御苑拜觀の時

評議員　中山幸子

なれ〳〵てみ庭の田鶴のゆたかにも
千代をことほくこゑたかくして
あふきみれはこそより色のまさりけ
りさきそろひたる藤浪の花

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家政

日米家庭の比較

早稲田大學講師　安部磯雄

▲嫁婿と養子　日本では家を本位として相續者に男子がない時は娘に婿を娶り、男の子も女の子もない時には貰ひ子をして家名を繼がせ、只管家の斷絶しないやうにと勉めますが、米國では個人を本位として居りますので、家の斷絶することなどには少しも頓着をしない、個人の發達することのみを重んじますので、一人娘でも他所に與れます、是れは日本のやうに親が隱居して老後子に養つて貰ふと云ふ習慣がないから實行せられるのであります、即ち個人を本位として社會が組織されてある理由であります。

▲結婚の差異　日本の結婚は當事者よりも其の親や兄弟が主になつて取り極めますが、米國では個人を重んずるから日本のやうに親や兄弟が餘り干渉しません、本人と兩親が同意見で定めると云ふのが普通であります、さうして若し親と考へが一致せぬ場合がありましても、夫れは無論本人の意志通りにさせますが、其の代り親の賛成しない人と結婚した場合には、其の罰として財産を少しも與へぬと云ふことになつて居ります、自由を重んずる國にも、結婚は人事の大禮、また相當の制裁は設けられてあります。

▲妻君の權利　夫が妻に對する行爲は子供の教育に至大なる影響のあるものであります、然るに日本では男尊女卑の長き習慣から婦人の權利を全たく認めない結果、子供や下婢の居る前をも憚らず妻君を口汚く叱る夫が澤山ありますが、是れは甚だ間違つたことであると思ひます、家庭に於ける主婦に大なる權利がなかつたならば、決して子供を立派に教育して行くことは出來ぬものでありますから、是非とも主婦には權利を有たさなければなりません、故に夫たるものは此の邊に注意することが必要であります、此の點に至りますと、米國の家庭は甚だ行き屆いたものでありまして、夫が妻を卑きものとして輕んずるやうなことはなく、充分其の權利を認めて尊敬の意を有つて居ります、故に一見すると女尊男卑のやうでありますが、眞相は決して女尊男卑でなく、能く教育されたる婦人は其の身に自由を得ると共に是れを濫用せず、主婦として又た母として、甚だ缺點が少いのであります、其處で社會も婦人を尊敬するやうになつたのであります。

▲怒らぬ習慣　日本では妻君や子供が過失つて器物を毀しても、主人は直ぐに其の非を鳴らして叱りますが、米國の中以上の家庭では、この叱る怒ると云ふことをしません、彼の有名なるデモグラット

派の首領ブライアン氏の令息が、一日父の書齋の高價なる窓を過つて毀したことがありましたが、其の夕べ卓を同うして晩餐の席に着きましたけれども、氏も夫人もこの破損せし窓について一言をも發しなかつた、處が翌日の午後令息は學校から歸るや否や直ちに昨日の過失を謝すると同時に、自分は毎日家庭に於て多少の働らきを爲し、而してこの高價なる窓の代を償はんことを願ひ出ました、ブライアン氏は非常に喜んで其の願ひを許し、約束の如く是れを償はせました、斯かることは最も勝れたる實例でありますが、兎に角餘程の罪を犯しても、叱らず怒らず、反省を促すと云ふのが彼の國家庭に於ける教育の方針であります。

▲獨立の養成　日本に於ける紳士淑女の標準は、學問よりも精神よりも、多數の召使を置いて是れに用を辨じさせ、自分は手を空うして、總てを人任せにすると云ふのでありますが、米國では個人を本位として居りますから、獨立心の養成と云ふことを非常に奬勵します、故に上流社會でも、子供の時から自分のヿは自分で處置して、決して人任せにしないやうに育てますから、成人の後は男女とも外出するからとて他人の手を借りて衣服を着けるなど云ふことはありません。

梅雨生活

糸左近

これから愈々梅雨の候になりますが、殆んど一ケ月の間は天がシク〳〵泣き玉ふので、其涙は到る處を濕し、衣服の洗濯は出來ず、食物は腐敗し易く、住居にも黴菌が生える、僂麻質斯脚氣などの持病者は言ふに及ばず、其他色々の病も發生し易く、身も心も欝々として、不性者は益々不性になるといふやうな譯であるが、是時に當つて何う暮したら可からうか、四疊半に樂鍋、心の合うた友垣と、しんねこの話でもしようか、否々もつと高尚に、風呂釜でも掛けて、松風の音を聞きながら「さみだれや」の一句も詠まうか、夫等も可からう。併し何を爲るにつけても此氣節中の衞生法を知つて居らぬと、頓でも無い重い病源を醸すことあれば聊か御注意の節を記しておきませう。

衣服――濕氣を含んだ着物は健康上甚だ宜しくないから、可成はフランネル、紀州ネルなどの毛織物が善い、殊に下着シャツ等は多く用意しておき、屡々取替へて

乾きたるを用ゐ、若し晴天の日あらば、何を忘れても、物を乾かすことを怠つてはなりませぬ。

食物――梅雨中は不運動勝になり易いのと、欝々するためとて、食物も消化し難いものであるから、消化し易い滋養品を撰び、料理法も能く注意して、旨く感ずるやうに工夫するが肝要である。前にも述べたる通り、梅雨中は黴菌の發生最も甚しく、食物の腐敗は極暑よりも勝つてゐるから、極めて新鮮なるを撰び、能く煮、能く燒かねばなりませぬ、勿體無いからとて黴の生えたる物や餒たる飯などを食ひ、勿體無い身體を忘れてはなりませぬ。海魚豆腐等は固より滋養品なれども、刺身・奴豆腐は此際用ゐぬが安心であります。

住居――戸棚・押入・臺所・流しなどは清潔にす可きは言ふまでも無いが、時々熱湯を注いて拭き、押入蠅帳の如きは火鉢でも入れて、乾かすが可い、便所には石灰・アルボース又は石炭酸等を撒りまき、可成は常に蓋をしておくが上等の策である、下水も十分掃除を爲し、疏通を計らねばならぬ、臭氣紛々鼻を衝くやうでは病氣來らざらんと欲するも豈得可けんやである。連日雨が降り續くと柱壁等にも黴茸といふ菌が生え、それが自然と飲食器に入り、一方ならぬ害あるものなれば、何れも拭き且つ乾かすやうにせねばなりませぬ。

精神――光線と精神とは大なる關係あるもので、所謂日本晴といふやうな日は精神何と無く爽快にあるけれど、細雨霏々滴々と降り續き終日朦々たる日は心も亦自ら欝々として神經衰弱や歇私的里なども誘發し易いから、茲にこれが豫防策を講ぜねばなりますまい、兎角我國人は悲哀なる芝居小說を見たり讀んだりして快感を得ようとしてゐますが、これは策の最も下手なもので、殊に梅雨中の徒然を慰めんなどとは以ての外と申さねばなりませぬ、或は詩歌を唱ふも善い、或は音樂を奏するも可なり、其他色々の遊戯・室内運動などして、心を面白く且つ高尚にするやう計るが大必要である「不如歸」でも讀んで妾も肺病になつたら何うであらうなど、想像の泣を滋すが如きに至つては刃を以て身を削るやうなものであると心得られたい、貴女は琴、妾は琵琶、さア彈じませう、ツ、ンテンシャン是等は實に望ましい所である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人會記事

◉評議員會　評議員會例會は去る十六日午後二時より本部樓上に於て開會したり

◉支部顧問招待會　五月七日午後一時半より九段階行社に於て支部顧問招待會を開けり當日は各府縣知事たる本會の顧問出席し總裁殿下より左の御令旨を賜ひ本部顧問男爵清浦奎吾氏一場の演說を爲し終つて總裁殿下より立食の宴を賜ひ午後二時半一同退散したり

支部顧問に賜はりし令旨

本日諸氏と玆に會するは智惠子の深く懌ぶ所なり

抑々明治三十七八年戰役本會の事業に對し畏くも

皇后陛下より優渥なる令旨を下賜せられ感激の至に堪へず本會の光榮何を以てか之に加へん

夫れ本會の事業たるや戰時は勿論戰後最も必要にして其隆盛は一に諸氏の援助に待つもの多し將來益々本會の爲めに盡力せられんことを望む

◉閑院宮妃殿下支部御臨場　我が會の總裁たる閑院宮妃殿下は京都支部及石川支部の總會に左の日割を以て御臨場あらせらるゝ都合なり

五月廿二日午前八時東京御出發
五月廿五日　京都支部總會御台臨
五月廿六日　京都市御滯在
五月廿七日　京都御出發
五月廿八日　石川支部總會御台臨
五月廿九日　金澤市御出發
五月三十日　東京御着

◉會長及評議員出張　本會會長公爵夫人岩倉久子同評議員東郷鐵子の二氏は大阪支部總會に臨場の爲め來る五月廿二日東京出發の筈なり

◉總裁殿下隨行員　會長公爵夫人岩倉久子氏評議員東郷鐵子氏は京都まで御隨行總會に臨場評議員公爵夫人二條治子氏は石川支部へ評議員奧村五百子氏は京都石川の兩支部へ殿下に隨行

◉靖國神社大祭餘聞　靖國神社臨時大祭の時本會が盡力せし狀況は前號の紙上に詳報せしが豫ての通り六日まで茶菓の接待を爲し紀念品を分配せし員數は實に一萬四千餘名に達せり尙ほ結了後大祭委員より丁寧なる禮を陳られ且つ特別の計ひを以て九日十日の兩日赤阪離宮御苑及び御濱離宮御苑の拜觀を差許されたり

◉寄附金披露　其の後金十圓以上の寄附者左の如し

一金九百八十二圓餘　英國人マルテン氏
一金四百卆圓　英國大使夫人取次無名氏
一金二百圓　米國人スクリムサ夫人
一金二百圓　同　セームス氏
一金二百圓　同　タカーマン嬢
一金百廿圓餘　英國大使夫人取次無名氏
一金百三十五圓　東京中井かね子
一金百五十圓　同　渡邊稻子
一金百圓　同　伯爵夫人阿部篤子
一金百圓　同　侯爵夫人佐竹祚子
一金五十圓　同　鳩山春子
一金五十圓　同　吉田知吉
一金五十圓　同　渡邊東一郎
一金三十圓　同　伯爵夫人佐々木貞子

右の內吉田知吉氏の寄附は同人母吉田久子氏の遺言により寄附せられたるもの也

◉東京支部總會　本部總會を終へたる上引つゞき東京支部第一回總會を開く都合にして其の順序は左の如し

▲式次第　△第一鈴一君が代吹奏總裁殿下御臨場（一同最敬禮）二支部顧問開會の辭三支部長會務報告書を捧呈す總裁殿下御諭旨四支部長奉答　五主事會務并に會計報告六遺族癈兵へ御思召金賜與△第二鈴七君が代吹奏總裁殿下御退場（一同最敬禮）

◉京都支部總會　同支部第五回總會は來る五月廿五日京都御苑內宮內省管理の舊博覽會々場內に於て開會同總會を開くと同時に京都府下居住の癈兵及び戰病死者の遺族を招待し慰藉を試むる筈なり倘餘興として殿下の台覽に供する種類左の如し

一女子の仕舞　一女子の舞　一音樂
一萬歲

▲第五回總會式次　△第一鈴一參列者入場第二鈴二君が代吹奏（一同敬禮）殿下台臨△第三鈴三開會の辭四御令旨五答辭六有功章授與七紀念品授與八會務報告九祝詞演說十閉會の辭△第四鈴十一君が代吹奏（一同敬禮）殿下御退場△第五鈴十二參列者退場

◉石川支部總會　石川支部總會を來る廿八日に開會す場所は金澤市兼六公園なり

▲式の次第　△第一鈴一參列者一同式場に整列一總裁殿下御臨場（此間奏樂）一同最敬禮一君が代奏樂一支部長開會の旨を告ぐ一支部長職員名簿及會員表を捧呈一總裁殿下御諭旨を賜ふ一同最敬禮一支部長奉答一裁總殿下有功章御授與一支部副長會務并會計報告一支部顧問、來賓、會員總代祝辭一總裁殿下癈兵總代、遺族總代に特別賜金御授與一癈兵總代、遺族總代の御禮一支部長閉會の旨を告ぐ一總裁殿下御退場（此間奏樂）一同最敬禮△第二鈴一參列者一同退場

◉大阪支部總會　第一回總會を中の島博物場に於て開會す當日は本部より岩倉會長并に東郷大將夫人臨席せらるゝにて式後は園遊會を催し多數の模擬店餘興等を設備すよし案內狀を發せし人員一萬五千名に達したれば定めて盛會なるべし

◉愛媛支部　同支部內周桑郡幹事部にては其の發會式を四月廿九日開催せり會員には折詰及茶菓の饗應あり主事丸山務節氏の演說あり盛會なりし

●滋賀縣支部　卅七八年戰役の際犒軍に從事せし人々を慰勞する爲め園遊會を三井寺山下八景館庭園に於て客月廿四日午後一時より開催したり當日來會者約貳百名餘興に落語手品二輪加等を同縣物產陳列場俱樂部にて催ふし園遊會に移るや善哉餅そば辨慶餅等の模擬店にて隨意飮食せしめ又景品の福引紀念品の交付等にて各自歡を盡して退散せりと云ふ尙伊香郡幹事部にては會員の增募を圖る爲め客月八日第一回總會を催せしところ頗る盛會なりし

愛國婦人會の前途并に目的（支部顧問招待會席上に於て）

本部顧問　男爵　清浦奎吾

私は愛國婦人會の顧問たる資格に於て、只今賜はりたる總裁殿下御令旨の主旨を敷衍し、且つ一言諸君に對して希望を陳ぶるの機會を得たのは、私の最も光榮とするところであります。

三十七八年の戰役に於て、我が國民の擧國一致の後援が與つて大ひに力ありしことは申す迄もないことであるが、取分けて我が愛國婦人會は實に目覺しき活動をなしたのであります、軍隊の歡送迎は素より、出征軍人の家族慰問、遺族扶助、癈兵の保護等至らぬ限なく、出征軍人をして眞に後顧の憂ひなからしめたることは、諸君も既に認めて居らるゝことと思ひます。

本會は戰爭前には僅か五萬の會員を有するに過ぎなかつたが、戰爭中著しく盛運に向ひ、一躍して五十萬の會員を得、十割の增加を見るに至りました、是れ偏に總裁殿下の御德光の然らしむるところと、戰爭なる實物的感化に促されたる結果であるも、又た支部長及び顧問諸氏の盡力に依るにあらざれば、今日この盛況を見ることは出來ぬのであります、而して戰爭は茲に終結を告げたが、我が會の事業は是れにて止み、會員は此の儘でよいかと申すに、決してさうてはない、我が會の目的を達するは是れからであります、其の目的とするところは軍人遺族の救助、及び癈兵の保護にあるのでありますから、是れは戰後に於てこそ最も必要なる事業でありまして、戰爭中の働きは本會の目的よりすれば、寧ろ副事業と申しても宜い程のことで、主たる目的を達ずるのは今日以後であります、故に諸君に於ても此の機を失せず、支部長を助けて益々會員の募集に力められんことを望みます。

次に我が會は純然婦人を以て成立して、其の目的の事業を達するの傍ら、其の美しき情緖は確かに社會の風紀を改善し、社會の調和を計る上に於ても非常なる効力を有して居りまして、自から又た國家進運の圓滿發達を計る上に於て、裨益するところ蓋し尠からずであると思ひます、故に會員の增募は單り我が會の爲めのみならず、實に地方の風敎化育の爲めにも、亦た春風時雨の之れを化するが如き啓發力ありと信じます。

槪して婦人は比較的側隱の情、慈善の心が深く、信仰の念も強くて、同情の大なる點は其の本然に備はつて居ります、又た其の自ら信ずる事柄の爲めには、如何なる困難に耐へても成し遂げやうと云ふ氣が勝て居る、且つ其の思想は極めて緻密て、能く節約を守るの性も具はり、交際に巧みて調和力を有し、相互の連鎖となることも能く出來るし、手工に巧みなる趣味の優れて居ることは、是れ又た其の本能的に具はつて居ります、併しながら只組織的頭腦と、勇決果斷とに至りては婦人の短所かと思ひます、故に本會が純然たる婦人組織の困難なるに拘はらず、特に顧問を囑託せられたる所以のもの蓋し偶然のことにあらず、諸君は地方に在つて能く支部長を助けられ、以つて總裁殿下の御旨に副はれんことを重ねて希望して止まぬ次第であります。

尙ほ本會の事業に對しては　皇后陛下に於かせられても深く御嘉奬あらせられ、昨年の總會には特に行啓あらせられ、特に御令旨を賜はり、又た戰後に於ても御令旨を賜はりし程でありますから、御互ひに顧問として本支相應じ、共に益々奮つて盡さんことを誓ひたいと思ひます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人會記事

佐賀支部遊説日誌（五）

奥村五百子刀自一行

▲三月十二日　晴　奥村女史疼痛を催されたるも強て普恩寺を出て前日同様桑草鞋を穿たれて有浦村へ向れたり此行程約一里餘なれども前日の如き險悪なる道路なれば非常に困難を感じ辛うじて十二時過ぐる頃假屋村へ着此處より舟にて有浦へ航し夫より又數丁跋行して奥村女史は直に世戸病院に入りて靜養せられ自分は伊東加藤兩事務員と川添氏方へ到り晝餐を喫し午後三時より東光寺に於て講話會開催聽衆約六百餘名村長の開會の辭に次て自分講話したり奥村女史は稍快方に趣かれたるを以て伊東事務員の迎に應じ來場講話せられ六時閉會せり奥村氏は直に病院に赴かれたり同村畑中イシ子貴重なる鳥を以て入會せり（同女のことに關しては前號にこれを詳記したり）

▲三月十三日　晴　奥村女史は疼痛尚未だ治せざるを以て此日は世戸病院にて靜養せられたり自分は伊東加藤兩事務員と同行午前九時川添氏方を出て入野村へ向ひたり有浦より莒津迄航行し夫より莒津峠を越え正午時同村へ着午後二時半より同村小學校に於て講話會開催聽衆約四百餘名同村長開會の趣意を述べ次に自分講話同五時半閉會せり夫より再び元の道をたどりて有浦村へ歸りたるは八時なりき該入野村は養鶏盛にして一家に五羽宛を飼養する規約なれども今後は一羽を増育し其代を以て全村の婦女子をして入會せしめんと村長並に郡會議員協議を遂げたり

▲三月十四日　晴　午前十時奥村女史（女史は略御快方に趣かれたり）一行は有浦出發唐津へ歸りたり時正に午後一時なりき

▲三月十五日　快晴　午前十時過ぎ佐志村役場吏員宮崎氏迎に來りたるを以て奥村女史一行は十一時唐津出發零時三十分佐志村へ着途中迄多數の會員出迎はれたり役場に入りて晝餐を喫し午後二時半より同村小學校に於て講話會を開催す順序は例の如し五時半閉會せり直に徒行して八時唐津へ歸りたり此講話會聽衆約四百餘名ありたりき

▲三月十六日　快晴　午前九時半奥村氏方を出て鏡村へ向ひたり太田幹事部事務員は講話の準備の爲先發せられたり一行は十一時同村永田米藏方へ着瀬戸村長奈良崎助役を始め有志者數名訪問されたり同家にて晝餐を喫し午後三時半より惠日寺に於て開催の講話會に臨みたり聽衆約五百餘名奈良崎助役紹介の勞を執られたり例の如く自分と奥村女史と講話し六時閉會せり即時入會を申込みしもの六十四名の多きに達し小松幹事大に斡旋の勞を執りたり閉會後直に歸途に就きしが奥村氏方へ歸着したるは八時半なりき

▲三月十七日　快晴　奥村女史は昨夜より疼痛を催され困難せられたるにより自分のみ午前十一時に同氏方を出發濱崎村へ赴きたり櫻井助役を初め會員數名出迎はれ田村幹事は唐津迄出迎はれたり午後二時半より西福寺に於て講話會開催櫻井助役開會の趣意を述べ次に自分講話したり奥村女史は伊東事務員と共に後より來演せられ自分の講話終るや登壇約一時半演説せられ五時半閉會萬壽旅館に宿泊す女史は疼痛尚治せず直に就蓐靜養せられたり

▲三月十八日　雨　午前江口玉島村長迎ひの爲め來宿せられたり十一時自分のみ旅館出發玉島村へ向ふ學校生徒婦人會員數十名郊端迄出迎はる奥村女史は後より伊東事務員と同行來場されたり午後一時半より同地小學校に於て講話會開催聽衆約五百餘名開會の趣旨を述べ次に自分と奥村女史と例の如く講話し五時半閉會此日即時入會を申込みしもの四十二名なり一行は濱崎萬壽旅館へ歸りたり

▲三月十九日　快晴　午前十時旅館を出て七山村へ向ふ太田事務員は準備の爲め先發せられたり一行は十二時同村へ着婦人會員郊端迄出迎はる一旅亭に於て晝餐を喫し直に會場なる龍川寺に到りたり賀湖村長初め宮川郵便局長有志者斡旋の勞を執られたり午後二時より開催聽衆約七百餘名村長紹介の勞を執り次に例の如く自分と奥村女史と講話し五時半閉會即時入會申込者九十六名ありたり一行は濱崎萬壽旅館へ歸りたり

▲三月二十日　晴　午前十時濱崎を出發正午時唐津町へ歸りたり

▲三月二十一日　雨　此日奥村女史は疼痛を催されたるにより自分のみ伊東事務員同行鬼塚村へ赴きたり零時十三分唐津發列車に乘じて二十分を經て同村へ着樋口村長樋口校長を初め學校生徒八十餘名出迎はる共に講話會場なる同村立小學校に到りたり午後二時より講話會開催聽衆約二百餘名（當日雨天なりし爲遠方よりは來らず）村長開會の趣旨を述べ次に自分講話し五時閉會樋口校長大に斡旋の勞を執られ即時申込をなすもの三十八名吉原工學士は五十圓を寄附せられ樋口校長は賛助員（金七圓出金）を申込まれたり午後八時奥村氏方へ歸りたり

▲三月二十二日　晴　奥村女史は本日稍快方に趣かれたるを以て零時十三分唐津發の列車に乘じ山本驛迄到り此處にて下車し夫より一里餘の道程を腕車を馳り北波多村へ一時二十分頃着停車場迄幹事初め會員出迎はれ途中には中里村長初め有志者學校生徒出迎はる一行は休憩所なる進藤醫師方へ到りたり村長有志者數名來訪午後二時半より小學校に於て開催聽衆約五百餘名校舍狹少なる爲め體操場に於て講話例の如く村長開會の趣旨を述べ例の如く自分と奥村女史と講話し六時閉會せり進藤方にて晩餐を喫し七時同所を出て山本驛迄來り此處より汽車に乘じ九時唐津へ歸りたり

▲三月二十三日　晴　零時十三分唐津發の列車にて女史一行は唐津を出て相知村へ赴きたり峯村長初め鶴田助役會員數名出迎はれたり午後二時半より同村小學校に於て講話會を開らく聽衆約五百餘名村長開會の趣意を述べ次に自分と奥村女史と講話し五時半閉會即時申込者七十名ありたり一行は村長助役に見送られ六時三十分發の列車にて唐津へ歸りたり太田事務員は例の如く先發せらる

▲三月二十四日　晴　零時十三分唐津發の列車にて女史一行は嚴木村へ赴きたり停車するや樂隊は樂を奏し志佐村長を初め有志學校長會員並に田久保二等軍醫は凱旋軍人三十餘名を引率して出迎はれたり一行は山田方にて休憩せり午後二時より同村立小學校に於て開催聽衆六百餘名志佐村長開會の趣旨を述べ次に例の如く自分と奥村女史と講話し五時閉會即時申込をなしたるもの百七十名の多きに達したり一行は五時五十分嚴木發の列車に乘じ七時唐津へ歸りたり

▲三月二十五日　晴　午後一時より和多田村に到り吉原工學士の宅にて休憩し同三時半より實業補習學校に於て講話會開催聽衆約百五十余名幹部村長開會の趣旨を述べ次に例の如く自分と奥村女史と講話し六時閉會直に歸唐したり

▲三月二十六日　晴　此日休業

▲三月二十七日　雨　此日休憩

▲三月二十八日　晴　午前十時十三分唐津發の列車に乘じ午後四時伊萬里町へ着岩田旅館へ投す伊東事務員は午後十時着の列車にて同地へ來られたり

▲三月二十九日　雨　午前十時より黒河村長吉田氏西松浦郡書記山口氏同行女史一行は伊萬里灣を舟出して黒河村へ赴きたり十一時三十分着婦人會員并に有志の出迎を受け會場なる龍靈寺に到りたり午後二時より開會聽衆約一千二百餘名村長開會の趣旨を述べ次に例の如く自分と奥村女史と講話し五時半閉會即時入會申込みしもの五十四名晩餐後有志數名來宿種々談話の末歸宅せられたり此夜當寺に泊す

▲三月三十日　晴　午前十時出發眞手野村華嚴寺に赴きたり同寺住職岸田圓城氏は黒河村迄來迎吉田村長は女史一行に同行せられ村會議員區長有志は村端迄見送られたり此行程殆んど一里半餘なるも道路惡敷爲め村長の計にて女史は輿にて赴かれたり眞手野村の入口にて同村凱旋軍人二十餘名并に婦人會員數名出迎はる一行の同寺へ着せしは十二時過ぐる頃なりき同村有志來訪午後二時半より講話會開催聽衆約八百餘名村長開會の趣旨を述べ次に自分と奥村女史と講話し五時半閉會即時入會を申込みしもの七十四名外に男子賛助員一名ありたり同夜は此處にて一泊す晩餐後職員區長數名來訪せられたり

▲三月三十一日　晴　午前九時半華嚴寺出發吉田村長岸田住職は總鄕惠村迄見送られたり十一時十分山本驛着汽車に乘じ同四十分唐津へ歸り晝餐を喫し午後一時より高徳寺に於て擧行の軍人追弔會に臨み各講話をなし六時歸宅したり

▲四月一日　晴　午前十時唐津出發宇木村へ向ふ途中鏡村永田米藏氏方にて晝餐を喫し夫より宇木村講話會場に到りたり瀬戸村長を初め奈良崎助役外有志小松幹事并に會員兩三名來場幹事部よりは辰野事務員諸般の準備の爲先發せられたり午後四時半より同小學校に於て講話會開催聽衆約二百餘名村長開會の辭を述べ次に自分と奥村女史と例の如く講話し七時閉會せり即時入會を申込みしもの三十六名あり閉會後約三十餘丁の道程を歩行し八時過ぐる頃牛田村に着同村有志中村源吾氏方へ投じたり

▲四月二日　晴　午後五時より一願寺に於て開催瀬戸村長小松幹事を初め有志出張斡旋の勞を執られたるは前日と異ならず當村は戸毎に紙を製造するを以て非常に人出少く僅に百五十餘名に過ぎず例の如く村長の開會の辭に續て奥村女史と自分と講話し七時閉會即時申込みしもの二十名ありたり閉會後直に歸途に就き九時過ぐる頃唐津に着しにけり（完）宮應眞寄子記

愛國婦人會々員數及女子人口比較表（最近調査）

支部名	特別會員	通常會員	合計	三十六年末女子人口	女子人口百人ニ付會員比例	贊助員
石川	一、七六四	一八、七二八	二〇、四九二	三八五、四七八	五、三二	七八〇
山口	八一九	二六、三六一	二七、一八〇	五〇六、九二〇	五、二九	一、〇七五
山形	八一四	一七、一三七	一七、九五一	四三九、六一八	四、〇八	一四三
岡山	一、〇三三	一九、五六七	二〇、六〇〇	五七七、二七二	三、五七	三六三
熊本	二、八〇三	一六、五八九	一九、三九二	六一〇、四一二	三、一六	二九九
京都	二、〇七二	一三、四二八	一五、五〇〇	五二〇、三九三	二、九九	二、三六三
富山	七九七	一〇、六二九	一一、四二六	三八四、九八二	二、九八	六二六
北海道	二、七〇五	一〇、九五七	一三、六六二	四六五、八〇二	二、九三	一、〇五七
群馬	一、三七三	一一、七四三	一三、一一六	四五四、一七一	二、八九	一一四
愛知	一、一七三	二三、三七〇	二四、五四三	八六八、五二五	二、八三	六三一
兵庫	二、〇二九	二二、九九〇	二五、〇一九	八九三、七三四	二、八〇	四七〇
香川	七七九	八、八七一	九、六五〇	三四七、八九〇	二、七七	三四九
福岡	二、二四三	一九、〇〇四	二一、二四七	七七二、七四三	二、七五	九五四
長崎	三、〇六二	九、九二六	一二、九八八	四八九、二六〇	二、六五	五二
宮城	一、四三四	一〇、二七六	一一、七一〇	四四五、〇四七	二、六四	七〇七
愛媛	三五九	一二、二二二	一二、五八一	五一一、三九六	二、四六	二八三
大分	八〇二	九、六八七	一〇、四八九	四三〇、〇二五	二、四四	五〇五
青森	一、二〇三	六、六一五	七、八一八	三二二、二一一	二、四三	二八一
神奈川	一、三七〇	九、八九九	一一、二六九	四九九、六二三	二、二六	二六二
奈良	二九八	五、六八三	五、九八一	二七八、一九一	二、一五	三二一
高知	二五四	六、四二二	六、六七六	三一八、二四五	二、一〇	六一三
三重	三九四	一〇、四一六	一〇、八一〇	五二二、〇三七	二、〇七	三四三
岩手	六五七	六、八六六	七、五二三	三六九、二七八	二、〇四	二〇六
福井	七九六	五、七三五	六、五三一	三二〇、一五四	二、〇四	九八八
宮崎	二四〇	四、七三四	四、九七四	二四七、二五二	二、〇三	四四七
佐賀	七九四	五、七七二	六、五六六	三二七、六七八	二、〇一	一七一
福島	一、一三九	九、四四二	一〇、五八一	五八二、一五六	一、八二	五二五
滋賀	三九二	六、一〇七	六、四九九	三六四、六八八	一、七八	二、七五三
島根	二八二	五、八〇四	六、〇八六	三六二、六三五	一、六八	四二二
東京	七、一九五	一一、九一七	一九、一一二	一、一五七、五一四	一、六五	五一二
徳島	二九七	五、四一九	五、七一六	三五二、六〇八	一、六三	七二
大阪	二、九四〇	一〇、八五八	一三、七九八	八六三、四〇五	一、六〇	一、〇二三
廣島	一、三九〇	九、九七四	一一、三六四	七四六、六五四	一、五六	六九八
千葉	九五六	七、七四〇	八、六九六	六五六、七八二	一、三二	二七五
茨城	四七八	六、〇〇七	六、四八五	六〇〇、四一三	一、〇八	五三
鹿兒島	一、〇一〇	五、一二一	六、二三一	五九四、九八五	一、〇五	三三四
山梨	二七四	二、五二六	二、八〇〇	二七二、七四八	一、〇三	一三四
和歌山	二六四	三、一九八	三、四六三	三五〇、〇六九	、九九	三七一
秋田	四六三	三、四三五	三、八九八	四〇三、九四六	、九六	一、二五七
鳥取	一六一	一、八七七	二、〇三八	二一七、四四一	、九四	三六九
埼玉	三五一	四、八九九	五、二五〇	六二七、五五六	、八四	三九四
岐阜	六〇二	三、二一八	三、八二〇	五〇二、六五八	、七六	三八九
沖縄	三一九	一、三〇八	一、六二七	二三九、五二七	、六八	九三
静岡	四九六	三、五九九	四、〇九五	六四〇、八四八	、六四	七一
長野	四七〇	三、八一五	四、二八五	六七四、七一五	、六四	五一九
新潟	六六五	四、二八六	四、九五一	八九九、一二一	、五五	八一八
栃木	二八四	一、八一九	二、一〇三	四五〇、一七二	、四七	一六三
臺灣	一、〇六九	三、二四四	四、三一三	一、四〇二、七七一		八、一一三
海外	七三二	二、一二二	二、八五四			二、六七六
合計	五四、二九六	四四一、三六二	四九五、六五八	二五、三一三、〇七五		三六、五〇二

（備考）函館支部會員數は特別四百九十八人通常千六百十三人合計貮千百拾壹人にして女子人口歩合は五人〇二に當る又韓國支部會員は海外の部に併て掲載せり

●第五回總會々場案内

▲會場の入口は左の如し

御幸御門　午前十時より（新宿大通り裏）入門

裏御門　午前十一時より午後〇時半迄

△街鐵線によるもの　御幸御門に入るには四谷鹽町大木戸にて下車し左に入り突當り右に行けば會場入口に達す

△甲武線によるもの　千駄が谷停車場にて下車し右に沿ふて往けば一町にて會場に達す又信濃町停車場によりする者は信濃橋に沿ふて左へ輜重兵營前通り新道を下りて左へ入る處則ち會場なり

△青山練兵場方面より　信濃町橋を渡り左へ輜重兵營前通り新道を下りて左へ入る處

△車及馬車置場　青山練兵內場輜重兵營の横の廣場

▲來賓及遺族癈兵休憩所　御幸門を入ると花段の左右に二棟の休憩所あり共に間口三十六間奥行三間にして右は來賓及左は遺族癈兵の休憩所なり

▲會員休憩所及物品配布所　御門の正門に相對して屋根はマルソイドの紙瓦を以て葺き四方回し延長百間坪數二百十六坪の一棟を以て之に充つ

▲大會の場所　入場すれば誰れ人の眼にも直ちに映ずる大建築あり之れ式場なり場の中央一段高き處に玉座を設け其左を理事顧問及び大臣男子來賓席となし玉座に面して右側を評議員女子來賓席及遺族癈兵席となし右を東京支部會員席左會員を一般會員席となせり

▲茶饗應所　式場の右に建て連ねたる一軒を以て茶饗應所に充て會員に茶を饗する場所とせり

▲式場の宴會　特別招待狀を發したる諮氏に對し式後閑院宮妃殿下より立食を賜ふ其場所は則ち式場の右方にして來會者凡そ千名の豫定なり

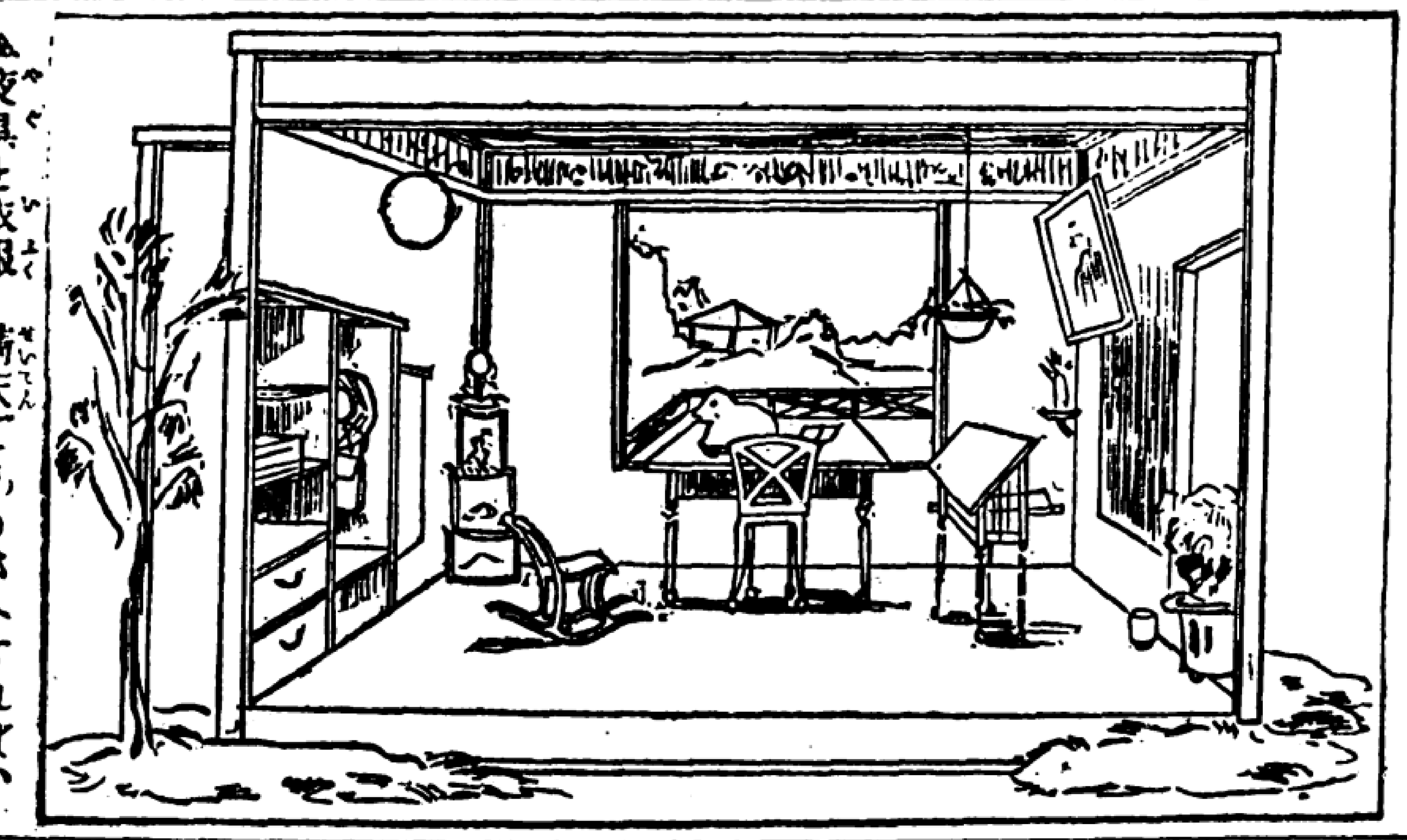
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

育兒

梅雨の小兒衛生

ドクトル　川瀬元九郎

▲梅雨と小兒　梅雨期に於て特に注意すべき小兒の衛生と云つても、別段これと云ふこともありませぬが、一二氣附いたことを申して見ませう。



▲夜具と衣服　晴天でありさへすれば、必ず夜具を日光にあてなければなりませぬ、押入れに仕舞つて置きますと、濕氣を含むで黴を生じ、惡い臭いを發し、大いに身體に害をいたします、衣服も又た其の通りでありまして、梅雨期中は必ず日光にあてるやうにしなければなりませぬ、其他この季節には空氣の濕度と濕氣の工合で、書物でも器具でも黴が生じ易いのでありますから、是れらの類ゐも氣を附けて日光にあてるが宜しい。

▲胃腸が大切　病氣の原因となる種々の黴菌も、この季節に繁殖し易いのであると同時に、氣温の變化も急劇に起り、且つ氣候の惡い爲めに戸外の運動が充分に出來ませぬ、是等の理由で胃腸の疾患に罹り易いものであります、故に飲食物に注意せねばならぬ、特に成熟しない青い果物などは極て惡くあります、天氣の宜しい日には氣温も隨分高くなりまして、水や氷を用いて胃腸を冷すやうなことがありますが、飲食物は能く〳〵選擇せねばなりませぬ、且つ間食を愼んで胃腸を損じないやうに心掛けねばなりませぬ、また雨天が幾日も續く場合には、室内に火鉢でも置いて、空氣を乾燥せしむるやうな注意をするも宜しい。

▲下着と足袋　下着、足袋、靴下などは能く乾燥させて、時々取り代へてやるやうにしなければなりませぬ、特に雨天の日には、學校から歸つて來たら直ぐに脱ぎ替へさすやうに、氣を附けて遣らなければなりませぬ、少しの親の不注意から、小兒に病氣をさせてはなりませぬ。

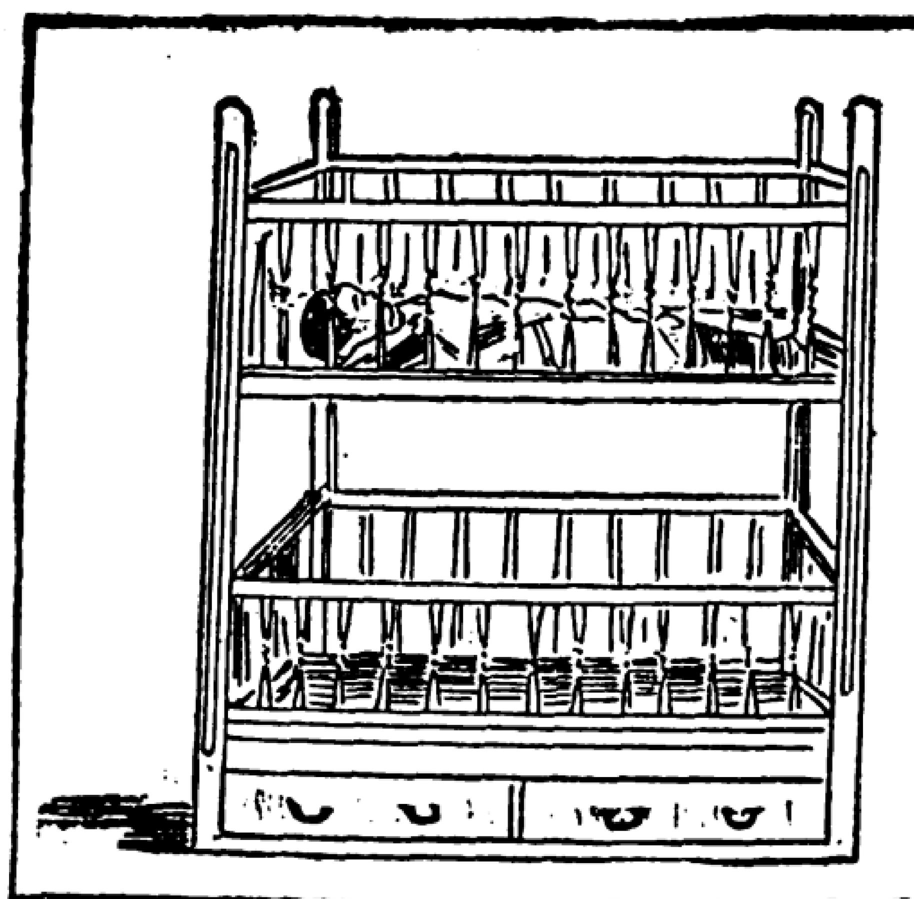
赤い衣服

久津見蕨村

▲「サア〳〵赤い衣服を御着よ」と申しますと子供は喜びます。取り分け女の子ですと一層其喜びが多いです。之から見ますと幼兒には、美を愛する情があつて、それを賞翫するものと想はれます。

▲併し「ア、良い衣服だこと、これを御覧よ」と少し澁い柄の友染を子供に見せましても、夫れは餘り喜びません。之れよりかも緋モスリンとか、緋縮緬とか、又は卯金縮緬とかいふもの丶方を美しく想ふのであります。

▲先づ物は試しです。御兒さん達に澁い友染て大人が見れば、飛付たいほどのものと、緋縮緬とを出して何らが宜いか、何らが美しいか。お尋ねになつて御覧なさいまし。御兒さんの年齢にも寄りますが、大抵の御兒さんは必と緋縮緬の方を美しいとおつしやいます。



▲六づかしく申しますと緋と云ふやうな刺激の強い單純な色は、餘り美ではないのです。ですから高等な文明人種の間には緋や赤といふやうな單純な色は、高等の美色ではないとしてあるのです。所が野蠻人になりますと緋を一番美な色といたしてをります。田舍好みの髪飾や、衣服の中に往々緋や赤を多く用ひますのは、矢張り田舍者の眼が野蠻人に近くて緋や赤が美しい色とされてあるからです。

▲子供が緋や、赤や、黄の色を好きますのは、之れも亦其眼が野蠻人と同じだからであります。文明人と野蠻人とが美としますを色を異にしてをるのと同じやうに、大人と子供とも亦美しいとする色を同じうしてありませんのです。

▲それ故斯様な美を愛するの情即ち美情なるものは、子供の時から持つてをるのではありますが、併し夫れは極く進歩しないもので、恰度野蠻人と同じ程度にあるのです。此極低い美情が家庭や社會や學校の教育で段々に高められまして、そして成長の後には大人と同じ度に進んで高等な色を美とするに至るのです。

▲ですから父母は茲に注意しまして、赤い衣服の好きな時代から次第に高等な色を愛するやうに、其美情の發達を助けねばなりませぬ。と申しても決して只『赤い衣服は汚穢のだよ』と頭から貶し付けて行くのではありません。『赤い衣服は坊には美しいが、父ちやんや母ちやんには美しくない』ことを知らせるのです。

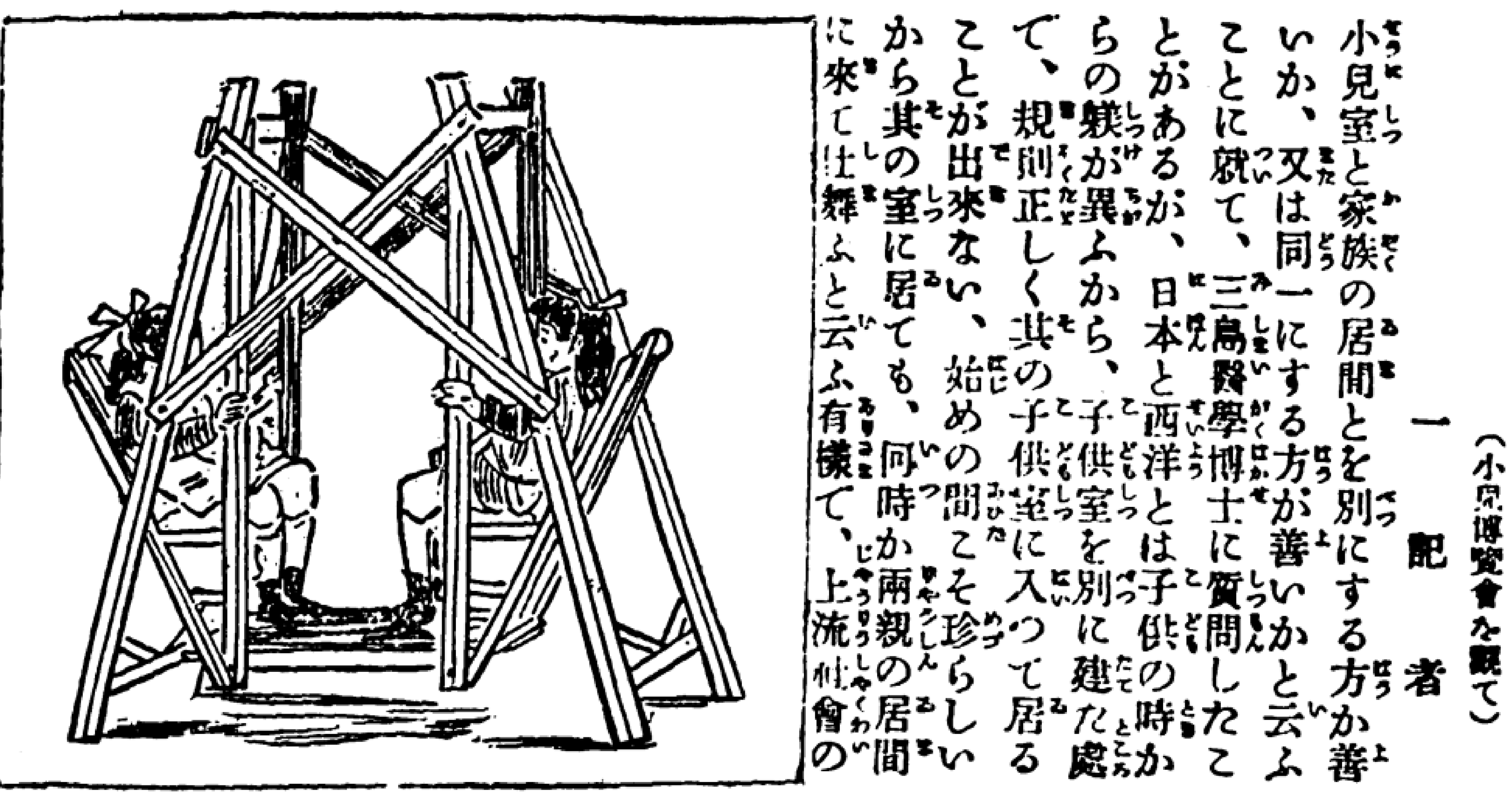
▲若し之を拋棄ておきまして、少しも美情を養いませんと、大人になつても子供の眼でをります。野蠻人の眼を持つてをる譯となります。ですから赤い衣服の時からの注意が肝要と思ひます。

模範的小兒室

（小兒博覽會を觀て）

一　記者

小兒室と家族の居間とを別にする方が善いか、又は同一にする方が善いかと云ふことに就て、三島醫學博士に質問したことがあるが、日本と西洋とは子供の時からの躾が異ふから、子供室を別に建た處で、規則正しく其の子供室に入つて居ることが出來ない、始めの間こそ珍らしいから其の室に居ても、何時か兩親の居間に來て仕舞ふと云ふ有様て、上流社會の家庭に於て教師を添へて置けば格別、其他では子供部屋を作ることは實際に行はれぬであらうとの答へてあつた、それは兎に角茲に圖解を以て示すは、兒童心理の研究家文學士松本孝次郎氏の考案で、小兒博覽會場に理想的小兒室として建てられたものである、記者は此室を説明する序に短評を試やうと思ふ。



◎床　床は頗る低く出來て居る、これは止を得ぬ爲めに自然低く出來たのか、又は子供が床から落ちても負傷をせぬ爲めであるか、其所の邊は能く了解されぬが、床の低いのは衛生上甚だ不適當であると思ふ、床の上には疊でなくて小豆色に塗裝を塗つた布を張り、靴の儘自由に出入することの出來るのは甚だ宜しい。

◎室内の器具　室の廣さは八疊敷あつて、其の中に椅子が五脚、卓子が一個据ゑてある、卓子には車を付けて自由に運搬することの出來るやうになつて居るが、あれては動いて落付きがわるい、寢臺がない、此處は勉强室のみで寢室でないので、寢臺は置かないか知れないが、疊の生活に慣れた子供に椅子にのみ倚つて居れと云ふのは少しく無理で、寢臺又はソファの一つ位ゐ置くが至當と思ふ。

◎天井及び壁　色は何れも光線の反射に注意して眼の害にならぬやう、灰色又は鼠色に薄き綠を含んだ色にしてある、是れが所謂理想的の處であらうが、欄間に綠色の草木の繪が無意味に描かれて、且つ壁には何等教育的の繪が懸けられてないのは少しく物足らぬ心地がする、是れは何んとか一工風ありたきものと思ふ。

◎懸額及び裝飾品類　子供を教育するには一の懸繪でも、注意に注意を加へて掲げればならぬが、懸額としては子供が遊ぶ可き範圍の地圖が書いてある、恰も交番所に區域圖が掲げてあると同じである、子供が遊ぶのに土地の制限を置く必要はない、又た地圖を見てから遊びに往く場所を定めると云ふ子供もあるまい、又た夫れまで智識も發達して居まいから寧ろ美術的觀念を養生するに適當なるものを掲げるが至當かと思ふ、地圖は一つものを常に懸けて說かぬでも要るとき出せばよい、其他此室は自分で掃除さす樣にせればならぬが、掃除する器具が一つも備へてないのは不思議である、又本棚の下の抽出しが亘もすぎる少し小くして、數を多くするがよい。

◎簡便なる寢臺　子供博覽會の出品物を見るに、子供の製作品が多くて、主婦の製作品が少いが、只一つ佐々夫人の工夫された寢臺、及び附屬品がある、即ちその新式寢臺で、上部に兄、下部に弟を寢かせ、格子は冬は閉め夏は開けるやうに出來て居る、且つ子供の布團が一工夫施してあつて、敷布團と掛布團と合併して作られ、擾搔いても跳び出ぬやうに左右を釦で止めてある、其他「なしめ」の工風されたのも出品されてあつた。（第三圖も同會出品物）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

雲之与

閑院宮女王殿下

評議員　跡見花蹊

愛國婦人會總裁殿下の姫君三女王殿下は私の學校に御通學遊ばしますが、御三方即ち恭子女王(御年十一)茂子女王(御年十)季子女王(御年九)殿下共に御聰明に渡らせられ、毎日午前九時より午後二時まで御在校なされます、夫れてお辨當を御持參になりますが、畏れ多きは金枝玉葉の御身にありながら御病氣の外は決して御缺席遊ばされたることなく、雨の日風の日も御厭ひなく永田町のお邸から、御三方お揃ひで御通學遊ばすので御座います。

私の學校では御三方を一般の生徒として御扱ひ申しますから、御運動なども他の生徒と同じ庭に於て遊ばします、又た御服裝もメリンス位ゐより外にお用ひになりません、お袴も矢張り他の生徒と同じ紫のメリンスて、式の時と雖も學校の正服なる黒木綿の紋附に白衣をお重ねになつて、御通學になるに絹物などは大抵お用ひにならぬので御座います。

御教授は、學課の方はお連れのお子達二三人と御一所にお教へ申し上げますが、畫や習字は他の生徒と御一所に申し上げて居ります、御三方とも御學業には御熱心に渡らせられますが、別けても御姉君なる恭子女王殿下は畫に非常なる御趣味をお有ちなされ、私が畫をお授け申しますに、頭を右に向けた小鳥を描いて差上げますと、直ぐ夫れを御覽遊ばして、頭を左に向けた雀などをお描き遊ばしますが、其のお捷いこと、筆勢の正しきには何時も〳〵感じ入つて居りまする、御幼年にして斯くの如し、栴檀は嫩葉より香ばしとはこの事て御座ります。

私の學校に女王殿下の御通學になりまするのは最も大なる光榮とする所てありますと同時に、御質素を旨とせられて他の生徒の模範となられますのは、誠に難有い次第で御座います。

疑文

▲神の息吹　愛媛　谷川小夜子

百萬の富も、千頃の衣も、萬頃の地も、金殿も、玉樓も何にかせむ、妾は熟睡せる稚兒の寝顔を愛す、何にを夢て微笑むか、時々豊なる頬に笑靨の深う、花唇を漏る丶微かの息、神のいぶきに似たり。

▲選者曰　入神の筆

▲管笛物語　大阪　富永才子

お隣の綾子様ちよいとお聞き下さいませ、あなたはほんとにお美しくつていらつしやいますから、いつも〳〵お嬢様の御寵愛をお受けなさいますが、私はどうてせう、最早此お簞笥へ納められてから三年近うもなりますのに、土用になると奥様が涼しい風にあて丶下さるばかり、夫はもう當世のハイカラとやらには向かない柄てすから、御きらひ遊ばすのに御無理は御座いませんけれども、之でも歴然とした織元の生れてすのに、一生埋れ木に終る位ならば、いつそあのお梅どんの晴着になつた方が仕合であつたかも知れないにと、またしても愚痴をこぼしたくなるのですよ、オホヽヽヽ。

▲選者曰　著想面白し

▲田園縮圖　群馬　伏島たき子

暇なきに心せかれて、いつになく時間を儉約したればにや、今日ははやく事はてぬ、隣の人の絶間なく織る機音を聞きながら、新樹すゞしき庭を掃き清め、盆栽にも水そゝぎつ、しばしと柴折戸をいづれば、野も山も見ゆる限り青々として、去年の冬、蒔きつる麥は穗いてにけり、俗に出穗見て四十日といへば、新らしきを食膳にのするも遠からじ、其の頃にならば瓜も茄子も實るらん、さても農家の樂さよ、など思ひ續くる程、日は暮そめて、夕風心地よう袖を拂ひぬ。

▲選者曰　結構は千篇一律なれど情趣掬す可し

▲母の法會　福岡　松村壽賀子

幾度の春秋を過ぎて今日は早亡き母上の七回忌となりぬ、三人のはらからは父上の御傍に侍り、何くれと御佛に供へまつりて懇に色々の營みしつ、軈て勸經も了へぬれば、人々は母上おはし丶昔の事ども語り、人の世のはかなき樣をかこつ、斯かる中に人形を弄びつ丶、さも嬉しげにほ丶笑む二人のうなひを見たまひし父上、祖母君の在さばさこそ嘉てつらんものを、いとしき孫の顔をも知らでと打しづみ給ふに、皆々も同じ思ひに胸も裂けなむかり、湧き出づる涙拂ひもあへず打ち見やれば、匂高きたきもの丶煙、幽に御佛をおほひて立ちまよへり。

▲選者曰　短文壇また此健筆家を得たるを悦ぶ

▲家庭の樂　兵庫　清原千代子

終日己がじ丶定まれる業をいそしみて、家内一致して一家の和合をはからんには如何にたのしかるべき、如何程ふゆうなりとも、如何に學才ありとも、内に快樂なき時は外にありても、爲す事々に不愉快を感じ、何事も意の如く行はれず、之に反して、賤しき勞働者の身にも家庭のたのしみ在れば、終日愉快に業務に從事する事を得、愉快なる家庭には幸福多く不愉快なる家庭には不幸多し、國家をおさむる貴き職にありても、一家おさまらざる時は從て國をおさむる事かたし、されば如何なる家庭にも必要にて、且たのしきは一家の團欒にこそ。

▲選者曰　仰せの如く正に然矣

清原千代子

▲庭中小景　東京　鈴木芳枝子

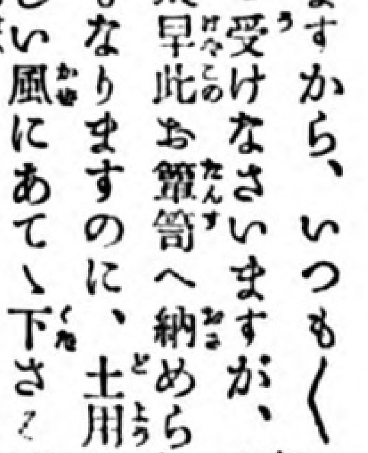
庭の石燈籠から微かな光りが射して、打水の露滴る若葉は玉を聯ねたかと許り、飛石を傳ふて泉水の畔に出ると、其處には父が遺愛の牡丹、有りし昔を誇り顔に咲き亂れて居る、懷かしさに傍に立ち寄ると、汀なる遺物の鶴も動きさう。

▲選者曰　佳き詠めならずや

▲森の下道　宮崎　久保やま子

青葉床しき森の下道、夕靄の中を、夫は鍬を肩に馬を牽き、妻は手に百合の一本薪を脊負ひ、節おもしろく鄙歌を唄ひつれて家路に急ぐ、夕べの團欒も思ひ遣られて羨しきは田園の人。

▲選者曰　新體詩の材とせば更に妙ならむ



募集　新體詩

小田の畔に佇みて

埼玉　森田竹子

早苗の丈のいと伸びて
　水涸れ〳〵になりにたる
小田の畔にたゝずみて
　物おもはしき女あり
「田植に着よと吾が背子が
　去年たまひたるこの衣
着る今日さへぞ懷かしき
　ともに出征にし背戸の君
恙もなくて歸り來ぬ
　されど吾が背は永劫に
歸らざるなりア、遂に
　若きをみなの可惜しく
ふたゝび嫁せと吾が母の
　切なる言葉子をおもふ
親のなさけはさりながら
　老いたる姑をいかにせむ
愛しき兒をいかにせむ
　亡夫の情をいかにせむ
頼みすくなき親子草
　置てわれのみ唯ひとり
などて榮華の夢見むや
　憂きも愁きもともにこそ
さなり」とばかり點頭きて
　川邊に匂ふ山梔の
花にさびしき笑み見せて
　水ひく小手のたゆげなる

御經の机凍るまで

盛岡　山口萬壽子

あまりに淸き月の影
　石山寺の秋の色
ゆかりの筆のそのぬしの
　魂やこの世にかへりけむ
御經の机こほるまで
　光りまさりて澄み行くは

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

○國のため力あはせし人々に逢みる今日そいと〻嬉しき　京都市下京區大和大路五條上る　渡邊豊子

○あた〻かき其まこ〻ろを語りあふまとゐの苑のかくはしきかな　岡山縣都窪郡萬壽村字平田　武田須磨子

○賤か屋のかきねに咲ける姫百合も雲井の苑に香ふ嬉しさ　東京市下谷區徒士町三丁目　岡田春子

○國のためつくす女のまこ〻ろを君のみまへに語る今日かな　埼玉縣北足立郡浦和町　水野淑子

○年々に光か〻やくこのまとゐ世のか〻みともなるそ嬉しき　群馬縣新田郡藪塚本町　伏島たき子

○數ならぬ身もゆるされて今日のみは玉のみこゑをきくそ嬉しき　愛知　市橋幾子

○年々にみくにをおもふ女等のこゝろの花そ咲きまさりける　大阪　富永才子

○かしこくも后の宮のあれますときくたに嬉しけふのまとゐは　京都　磯谷澪子

○國のためまこゝろつくす人々の心たのしくつとふ今日かな　靜岡　青木絹子

○とし〳〵におなし心の人增して今日のまとゐの賑はしきかな　岡山　山本種子

嬉しくもあひにけるかな國めつる○こゝろもふかき人のまとゐに　京都　金澤收子

いひしらす嬉しさむねにあふれけり○いよ〻榮ゆる今日のまとゐに　東京　小島幹子

國をおもふおなし心のをみなへし○こそにも增さる花の數々　福岡　松村壽賀子

尊きも卑くきも共にうちつとふ○けふのまとゐそゆかしかりける　三重　町井靜子

今日こそは尊き卑しきへたてなく○おなしこゝろにむつみ合ふらめ　青森　佐藤楓子

うちつとふ貴き人もいやしきも○おもふまことはかはらさるらん　京都　渡邊よれ子

はらからのためにはからんまことより○つとふをみなの心ゆかしも　函館　神尾登女子

もろともに盡す心の花さきて○雲井にまてもにほふけふかな　茨城　福田喜代子

花に實ににほふけふかな姫桃の○あかきこゝろの色をつくして　北海道　西久子

第廿九回作歌募集
題　螢狩
選者　某公爵夫人
規定　繪葉書に認める事
優等の作歌は六月廿日發行本紙上にて披露すべし

第廿二回短文募集
題　初夏雜題
選者　編輯局同人
規定　一行十八字詰十五行以下
優等の作は六月廿日發行の本紙上にて披露すべし

第十回俳句を募る
題　氷
選者　編輯局同人
規定　用紙葉書
優等の句は六月廿日發行の本紙上にて披露すべし

第三回新體詩募集
題　隨意
選者　編輯局同人
規定　成るべく短きもの
優等の作は六月廿日發行の本紙上にて披露すべし

締切六月五日限り

○集ひこしこの人こゝろあはせなは○いかなることかなしえさらめや　埼玉　森田竹子

大君もいかに嬉しくおほすらめ○みくににつくすけふのまとゐを　宮崎　久保やま子

つとひこし人の數にもしられけり○御國をおもふ赤きこゝろは　長野　高橋きよ子

まこゝろをつくすをみなのこのまとゐ○いよ〻さかゆるけふそ嬉しき　兵庫　下岡松枝

いつくしむこゝろをもとの根さしにて○いよゝさかゆくこのまとゐかな　山口　末田貞節子

をしなへて都につとふこのむれの○花咲きみのるみよそ嬉しき　埼玉　山崎匡子

かくはしきやまと心のをみなへし○咲きもそろへり花の都に　兵庫　宇野類子

ひとすらにみくにをおもふをみなへし○やまと島根にさき咲にけり　茨城　綿引馨子

若葉かこふ廣きみそのに手弱女の○　群馬　木暮千代子

○あかきこゝろをむつひ合ひにけり　東京　三宅ひさ子

たをやめのちからこそあれ島國に○ためしもあらぬ今日の賑ひ　岡山　谷とめ子

君のため國の爲とて御園へに○あつまりてさく姫百合の花　青森　田島正子

賤の身も國の光をあふきつゝ○むつみ合ひぬる今日の嬉しさ　石川　新田暉子

日に月に國の光ともろともに○けふのまとゐや榮えゆくらん　靜岡　萩原さだ子

大御代に生れあひたる身のさちは○けふのまとゐに入るそ嬉しき　岡山　貝原壽惠子

よりつとひかたらふことも國のため○女ながらもこゝろくたきて　山口　荒瀬千勢子

紅のこゝろの綱をよりあはせ○たゆますつくせやまと姫百合　兵庫　清原千代子

國のためたかきいやしきなへて○むつみつとへるけふそめてたき　山梨　芦澤爵子

大君のしらせたまへるこのまとゐ○たれか祝はぬ人やなからん　埼玉　加藤美代子

朝夕にいや榮えゆくこのまとゐ○光もけふはいとゝまはゆし　東京　齋藤ふく子

ゆひをりてまちわふるかなくにめつる○おなし心の人のまとゐの　富山　草野柳子

すたれなるものこそうからもいつくしむ○人のつとへるけふそ嬉しき　函館　佐藤かつ子

もろともにやまとこゝろをたてにして○つくせし人のつとふ嬉しさ

天　宵はや〻扱み餘りけり苔清水　廣島　白井政子

地　妹の探しあてたる清水かな　東京　川村誠子

人　岩清水小櫛をひたす女かな　埼玉　水野淑子

石に名を記して出る清水哉　函館　佐藤かつ子
境内や清水に浮ぶ笹の舟　東京　河村江都子
吸む人の心次第の清水かな　宮崎　久保やま子
岩清水子供から先つ呑まれけり　東京　平井千賀子
月影を手杓にもらす清水かな　東京　三宅久子
夏旅や清水もありて峠茶屋　埼玉　森田竹子
腰掛けて休む岩根や湧く清水　青森　田島正子
にごりなき月も浮びぬ岩清水　群馬　伏島たき子
回り道していこひたる清水哉　愛知　市橋幾子
陰德のゆかし清水の竹柄杓　東京　白井いし子
富士が根を水にうつすや清水潟　京都　磯谷澪子
白雲の湧き出る處や岩清水　熊本　齋藤さき子
蛇棲むも見へぬ清水の流れかな　日本橋　押田琴子
木の間から雲の影さす清水かな　廣島　小田信子
絶えせねば巖もとほす清水哉　東京　鈴木芳枝子
見る人の心まで澄む清水哉　京都　渡邊よれ子
見上げたる崖千丈の清水哉　岡山　木下竹子
汚れたる髮洗はれぬ清水哉　福島　中村ます子

金蘭簿　壹の卷

序

吾が「愛國婦人」の短文、和歌、俳句は實に數多き婦人雜誌中の花なり、輕佻浮華いたづらに文を飾り想を構へ、以て詩想の富贍と博學とを衒はむとする、彼の小雜誌の投書家とは自ら其の資格を異にし、篤學の諸姉が花晨月夕想を凝らし文を練りたるもの、一讀直に天眞の流露、人を動かすの佳什ならざるはなし、而も諸姉は紙上に於て互ひに其の錦心繡腸を賞し、纏ては其の面影を慕ふて是れを夢る纏綿の情起り、吾らを介して相見へむことを請はる、花の如く美しく、月の如く清き諸姉の優しき心何にか譬へむ、近日の紙上花姿柳態を掲け始めしもの、蓋しこの意に外ならず、既にして其の面影に接す、玉章に言の葉の花を咲かせて交りを呈せんとする是れ人の常の心なり、東家西樓の連鎖たる吾らには是れが紹介するの務めあり、こゝに金蘭簿を作る、北溟の甲樓、筑紫の乙樓、普く思ひつきて御座んせうがなと一筆書き添へ申し候。

明治三十九年、愛國婦人會第五回總會開かるゝの前一日、編輯局にて　江戸[illegible]川

大阪市西區新町通り五丁目　富永才子
東京府豐多摩郡中野町三千二番地　戸塚鐵子
愛知縣中島郡一ノ宮町　市橋幾子
京都市聖護院町七番地　磯谷澪子
兵庫縣神戸市港町一丁目　乾榮子
長崎市小島町二十番戸　葛原梅香
北海道函館區駒止町十二番地　佐藤かつ子
埼玉縣比企郡西吉見村字久米田　森田竹子
靜岡市兩替町三丁目十八番地　竹内幸子
長野縣下水内郡須坂町　高橋きよ子
三重縣桑名郡矢田礒六十六番地　玉置光子
山形縣東田川郡[illegible]村　阿部さゐ子
山梨縣東山梨郡日川村字栗原　蘆澤雪子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

のび艶のよきを緻密の香の失せざるは本品の特色にして貴婦人令嬢の常に愛用せらるゝ所なり

東京橋町　淺井本店

東京市京橋區尾張町
白牡丹本店
松田幸治郎
電話新橋五五一番

◎最新式寶石入指環

(1) ダイヤモンド一個入甲四百六十圓乙三百圓丙二百圓丁百五十圓
(2) ダイヤモンド二個入甲百八十圓乙百二十圓ダイヤモンド及ルビー入八十五圓
(3) ダイヤモンド二個ルビー一個入二百圓ルビーダイア及サフハヤ三個入七十圓
(4) サフハヤ一個ルビー二個入甲二十五圓乙十五圓ルビー三個入甲十六圓乙十二圓
(5) サパール周圍ルビー入甲二十五圓乙廿圓ルビー周圍眞珠入甲五十圓乙三十圓丙二十圓
(6) ダイヤモンド一個入甲一百圓乙八十五圓ルビー赤はサフハヤ入拾五圓拾二圓拾圓

夏物新荷到着

一婦人洋服地及袴地、帽子、造花、羽根、手袋、沓下、日傘、リボン、シャツ、ショール、櫛、レース類、ハンカチーフ、コールセット、レースカラ、ナプキン、テーブルクロース、窓掛、化粧品一式
其他洋織物及小間物各種
婦人洋服調進仕候
東京麴町區麴町二丁目七番地
八木屋號
大國市藏
電話番町七四二番

高等箪笥
長持類一式
蟲害豫防實施
數代の老舗
正札附販賣
箪笥目録進呈

東京市日本橋區小傳馬町壹丁目
長谷屋
長谷川箪笥店
電話浪花一千四百三十五番

奥村五百子刀自滿洲軍慰問紀念
▲婦人の慰問使
定價拾錢　郵税不要
東京九段下牛ケ淵公園
愛國婦人發行所

勉強之魁
●和洋造花化粧品小間物類
●宴會裝飾用造花類
●優等最新リボン徽章類
諸官省會社　各女學校　御用
本郷區本郷貳丁目貳六
宮部造花店

登録商標
夏用單衣　清涼足袋

東京日本橋區室町三丁目
龜屋足袋店
宮内清兵衛
電話本局一七一二番
電信略號（カメヤ）又（カ）

帝都唯一受賞袴
小町印
學生袴
卸部
日本橋區彌生町
永井本店
電話浪花一八四一番
小賣部
神田南神保町
永井支店

此の洗粉は米國最新最良特選原料を以て精製したるものなれば皮膚の自ら滑らかに其色を白くす

東京牛込
山本玉川堂

FORMALIN SOAP

◎殺菌防腐皮膚病一切によろし
◎養蠶家手洗消毒に最もよろし

ホルマリン石鹸
（消毒專用　化粧用　洗濯用）

本舗
藥種問屋
圓城商店
東京市日本橋區本町三丁目七番地
電話本局一四四三番

特別大販賣
東京本銀町三ノ十三
仲德商店

消化新藥

工學博士高峰讓吉氏に由て發見せられたる有名なる胃腸新藥タカヂアスターゼは粉末錠劑水劑の數種として各藥店に販賣せらる
摸造品數多あり必ずタカヂアスターゼ名稱及弊店名義に乞御注意
本劑に關する說明書は御申越次第贈呈す
東京市南茅場町二番地
三共商店藥品部

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

雜報

富美宮殿下御近詠

若楓

朝風に葉末のつゆはおちたれと　なほもすゝしきわかかへて哉

野邊蝶

かろ〳〵と飛ひゆく蝶の羽風にも　菜の花ちりぬのへの細道

水邊藤

くれてゆく春のなこりを川のへに　とゝめかほにも匂ふ藤波

泰宮殿下御近詠

鳩

はとのむれ餌を得たりけんうれしけに　羽風のこしてとひていにけり

燈下讀書

ともし火のゆらくにつれて文をよむ　おのか聲をもとゝめけるかな

水邊藤

なつかしく咲出にけり藤の花　おのかすかたを水にうつして

●癈兵遺族の救助人員　軍人援護會の調査によれば其の人員左の如しと云ふ

戰傷癈兵	三千二百八十人
同家族	一万三千八百十三人
戰病癈兵	二千三百十九人
同家族	一万百五十五人
病兵	三千七十一人
同家族	一万三千七百九十三人
戰死者遺族	三万五千五百七十八人
病死者遺族	一万六千九百六十人
合計	九万八千九百六十九人

●家庭に於ける兒童の作業　全國小學校教員會議の席上に於て決議したる種類は左の如し

家庭の手傳　掃除　庭園の手入　家具の整理　衣服の整理　靴洗滌　洗張　理髮　割烹　子守　動物飼養　植物栽培　害虫驅除　麥奴及白楊板取　草履鞋等の製作の類

●女子と圖書館　女學の盛んなるに反比例して婦人の圖書館通ひが割合に盛んならざるは我國の之れまでの風習として妙齡の婦人が獨りて男許りの處に行くと云ふ事かしさも少しは手傳ふものなるべしされば某私立圖書館の此の頃の調べによれば該圖書館の一ヶ月の婦人閲覽者總數は僅に百人内外に過ぎず平均三四人は毎日出入する譯なるも大抵常閲覽者にて新たなるが入り替り立ち替りと云ふ點まては往かざるなり偖て其等の婦人がどんな物を多く讀むかと云ふに文學趣味の物多きを占め去月中婦人閲覽者が能く眼を曝らせし書籍は左の如し

一葉全集、人物と事蹟、女子處世訓、佛教辭典、現身佛、法身佛、一茶句帳、明治時代文範、中學文範、記文傑作集、東洋史要、東洋歷史問答、男女同權論、婦人の本然、女流の偉人、我觀婦人、世界の婦人、泰西婦人新論、新聞記者、新聞小說、新聞社の裏面、

●女子の新職業　萬朝報社は賞を懸けて「如何にせば女一人最も早く一圓の金を儲け得るか」と云ふに對し左の統計の如き答案を得たるも十分なる答案なく不成功に終りたりと云ふ

▲縫ものに關するもの廿六通　此中にはミシンを以てする者と糸針の外機械を要せざる者等種々あり、レース、手巾、足袋の甲縫、縫箔類、刺繡類、

▲編物に屬するもの廿通　此中には毛絲、麥藁、經木、

▲行商に關するもの十八通　此中には賣藥、煙草、鷄卵、菓子、飴、生花、小間物、化粧品等

▲生ものを飼ふもの十八通　此中には鷄、蜜蜂、魚、小鳥、蠶など

▲紙を以てする仕事十五通　此の中には繪畫の著色が最も多く、外に衣類の上繪、代書、寫字等

▲身一つにて出來る仕事十二通　此の中には女髮結、女理髮師、按摩、病院小使、生命保險會社の勸誘員、傳染病看護附添人、掃除人などあり、又公園停車場などに行きて靴を磨く可しと云ふのも有り

右の外は細工物、賃仕事、糸取り、タイプライターの技手、教員、廢物利用の工夫、奉公、造り花、藥品製造、化粧品製造、玩具製造など有り

●養鷄の流行　近頃上流及び中流の家庭に流行せる養鷄は漸次大仕掛となりて大隈邸の如き邸内の一隅に大養鷄場を設け夫人親ら熱心に之が監理し又岩崎男爵は品川本邸內に廣大なる鷄舍を建てゝ英米より新種の鷄數十羽を購入し又昨今凱旋軍人殊に將校遺族の家庭にも此業を始めたる向頗る多く之が爲め市に近き郡部例へば四谷大久保千駄ヶ谷高田邊等に移轉する者も少なからぬ模樣なり目下百日雛の價格は雌雄一對普通四圓位にてバフオーピングトンは五圓、白色ドルキングは八圓、レグホール三圓、卵は一個十錢乃至五十錢にて普通二十錢内外のもの賣行多しと云へり

●軍資獻金總額　軍資金獻納は戰爭終局したるも獻金するもの〻あるを以て其儘繼續し居たるが愈四月三十日を以て締切たり總額二百三十五萬餘圓にして其府縣別左の如し

府縣	金額
北海道	二十一萬一千四百十三圓九十七錢八厘
東京府	八十一萬八千三百四十六圓六十九錢四厘
大阪府	十四萬六千〇二十三圓九十四錢
神奈川縣	九萬一千百六十一圓〇五錢一厘
兵庫縣	十四萬〇二百二十六圓六十二錢七厘
長崎縣	三萬九千三百九十四圓十錢八厘
新潟縣	四萬七千四百六十四圓七十錢五厘
埼玉縣	一萬〇三百二十五圓〇六錢三厘
千葉縣	三萬〇四百九十四圓二十七錢一厘
茨城縣	一萬五千二百五十二圓九十五錢六厘
群馬縣	二萬四千七百三十四圓十錢三厘
栃木縣	九千八百十八圓〇一錢六厘
岩手縣	一萬〇八百十九圓九十七錢八厘
青森縣	一萬一千七百四十八圓五十八錢五厘
山形縣	七萬九千九百七十二圓二十九錢七厘
秋田縣	七千三百七十八圓二十八錢四厘
福井縣	一萬七千八百六十一圓八十三錢九厘
石川縣	四萬四千三百七十六圓二十五錢六厘
富山縣	一萬四千〇四十圓九十錢七厘
鳥取縣	一千六百二十圓六十七錢二厘
島根縣	一萬一千二百四十八圓八十八錢
岡山縣	一萬一千二百十一圓九十二錢
廣島縣	五萬八千〇七十六圓〇一錢二厘
山口縣	一萬五千〇九十四圓七十九錢四厘
和歌山縣	一萬六千九百八十二圓七十二錢二厘
奈良縣	三千七百二十五圓九十八錢七厘
三重縣	七千七百〇七圓九十六錢七厘
愛知縣	七萬五千七百八十圓六十四錢八厘
靜岡縣	一萬七千圓十三錢九厘
山梨縣	一萬二千七百三十九圓二十三錢九厘
滋賀縣	二萬一千三百九十六圓四十六錢九厘
岐阜縣	二萬三千二百〇七圓七十二錢七厘
長野縣	四萬七千〇二十一圓七十四錢四厘
宮城縣	一萬四千九百三十圓三十七錢
福島縣	九千百三十九圓八十七錢四厘
德島縣	九千四百〇四圓九十九錢
香川縣	五千九百二十一圓四十九錢四厘
愛媛縣	六千二百五十七圓三十一錢八厘
高知縣	一萬二千九百二十一圓九十七錢
福岡縣	二萬五千[illegible]百六十[illegible]圓三十一錢七厘
大分縣	六千七百九十四圓七十七錢八厘
佐賀縣	八千六百六十一圓九十錢一厘
熊本縣	一萬七千六百六十三圓二十七錢六厘
宮崎縣	三千九百十六圓十一錢六厘
鹿兒島縣	二萬四千四百七十[illegible]圓三十三錢九厘
沖繩縣	二千三百三十二圓九十四錢三厘
臺灣	四萬七千九百[illegible]十三圓六錢五厘
計	二百三十九萬千九百八十七圓十九錢八厘

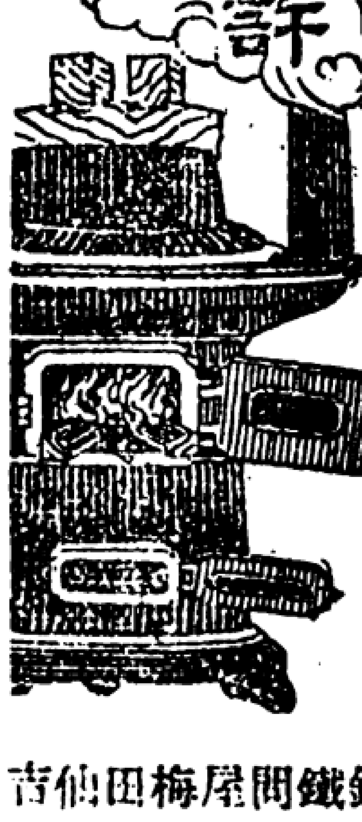
高等かみ油　ピース油　香氣佳良

白色の油とちがい髮毛の爲に有功ある精製品にして我國男女の嗜好に適し四季何れの時に使用するも毛のねばることなく色澤を發し艶美ならしむ

●各小間物賣藥店にあります

東京日本橋區榑正町七番地　發賣元　前田久昌堂

公益　梅田竈　特許



石炭、薪、木炭、コークス何でも焚得る舊竈に比し五割餘の有益　保險附御試用卅日間賣價で買戻します

竈鐵製改正定價表

一升五合	二升	三升	四升	五升	六升	八升	一斗	一斗五升
金三圓	金四圓	金五圓	金六圓	金八圓	金十圓	金十二圓	金十五圓	金十八圓

●販賣所全國の金物商及石炭店●

東京市通油町　電話浪花二一〇一　發賣元　銅鐵問屋　梅田伸吉

女子英語生徒募集

本院ハ午前授業ヲ全然女子部トシ最モ完全ニ教授ス（規則入用ノ方ハ郵券貳錢送ラレタシ）

牛込區北山伏町五　牛込英語學院　學院長　芳野世經

文學士君塚守譯　良人の選定（全二冊）

此書原本は以太利の名著にして今や歐米に於て盛に各國語に譯されつゝあるものなり

目次　▲書物と空想▲初戀▲娘一人▲夢　大要　少女物語と實記芳

▲如何にして良人を選定すべきか　父の遺書

良人の職業　▲實業家▲製造家▲銀行家▲地主▲科學者▲文學者▲辯護士▲醫師▲軍人▲家庭外交術▲美術家▲技師▲政治家

●定價前編金貳拾錢後編拾五錢郵稅四錢

（發）（元）東京本郷駒込西片町から橋下通　內外出版協會

登錄商標

（第五回內國勸業博覽會褒賞受領）

東京市京橋區銀座三丁目　（八）松澤商店

賣捌諸々小間物店藥舖賣藥店にあり

東京日本橋區人形町通り　發賣元　三宅島物產株式會社　電話浪花〇二六

朝顏

農學士選　變花十五苑　草花十五苑卅錢分ち　購求者へ栽培秘訣呈　高輪北町　東京振藝園

目　有色友禪縫刺絞り　半ゑり帶揚類

○夏季用ショール　○都花織　○旭織　○縮緬刺繡類

○最新柄染模樣　○帶片側　○丸帶　○博多伊達卷

○新模樣け出し地　○絞り兵兒帶地　○ネキタイ

○有功賞受　すゞめ形　ゑり治形　紀念形まげ入

夏季節柄取揃

新橋竹川町十二番地　電話新橋二〇二七　ゑり治本店

神田表神保町壹番地　電話本局九五二番　ゑり治支店

新橋際博品館內階下　ゑり治出張店

美人ムスク石鹸

此全形ナキ物ハ模擬ナリ

美人ムスク白粉

輸入元　東京市日本橋區新和泉町　桑原花生堂

TRADE MARA

春夏用ショール　フランネル地　見本呈ス

旅行用毛布チリヨケ外套車用膝掛種々其他

洋織物、綾織物　ケット、敷物類　何なりと御座候

ツカタヤ　東京湯島切通下　電話下谷一三一四

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

最上醤油
キハク印
香
於聖路易博覽會
名譽大賞牌受領

キハク印
醬油の味がよくて調理にかなつて居ると云ふことは皆さん一般の評判ですどーか其あぢのよくてそして經濟であると云ふことを御ためし願ます

釀造元　千葉縣野田町
茂木七郎右衛門
電信略號(キハク)又(ハク)

東京支店　日本橋區小網町三丁目
中野長兵衛
電話浪花五七七番

中久商店
正札附陳列場
商品目録
西洋小間物
帽子各種
婦人用小間物
内外化粧品
文房具
玩具
東京神田神保町一番地

生粹の江戸ッ子向
御ゆかた地(みやこぶり)
其外御半ゑり
帶あげ袋もの
東京京橋銀座二丁目
木村屋
電話四一三九番

鹿齒磨は
煉と粉の二種あり
本品の特色は齒牙の保全と口中の爽快
東京馬喰町
花王石鹸本舗
長瀬富郎
電話浪花三番

世界のしんぶん

◎**仕方噺**　は南濠洲の一部に行はれつゝあり或る種族は手眞似の暗號頗る完備せるものありて殆んど普通談話に劣らずといふ

◎**鹽の分量**　今若し世界中の大洋を干して水分を去る時はあとに殘るべき鹽の分量は五百万平方哩の廣さと厚さ一哩の塊を得べしといふ

◎**老人の結婚**　此程英國レオナードといふ町にて老人同志の結婚ありたり此の兩人の年齢を加ふれば百五十五歳となる又最奇妙なるは兩人共三度目の結婚なりしといふ

◎**最少の馬**　にて世界第一と稱せらるゝは伊太利國ロンバーディの牧場に育てられたるものにして同國貴族の所有にかゝるものにて犬の大なるものよりも小なりと此貴族は此外にも小馬を多く所持せりといふ

◎**チヨコレート**　は難破救助船に乘込みて數時間寒き處にて何物をも食せずして働くには最宜敷ものなりといふ

◎**紙キルク**　といふもの此程歐洲に於て發明せられたるが此は新に工夫されたる器械によりて作らるゝものにして原料は紙反古又はポルプ(紙を漉く原料品にて板の如く軟かなるものなり)にして此人造キルクは普通のキルクよりも優等のものなりといふそは此の紙キルクは酸類又は油の爲めに變化することなき故なり平常キルクを用ゆる人は試驗の結果滿足の効用ある事を認めたりといふ

◎**紙幣の肖像**　は是迄は大抵大人のみなりしが昨年新に印刷せられたるオーストリヤ國の五クローナー(我國の六拾圓位に當る)紙幣には美しき小童の肖像を以て飾られたりといふ此の小童は同國の皇族フランツヨセフ、ローハン公の子をモデルとなしたるものゝ由なり、嘗て紙幣裝飾の工夫に從事し居りたる一畫工町に此の小童を見て其美はしきに驚き遂に其父に乞ひて寫生したるものゝ由なり

◎**歐洲の皇室**　にては近來珍しくも背の低き帝王と背の高き女皇との君臨せるもの多しとなり第一は獨逸にて同國皇帝は體格の大なる方なれども皇后よりは低き人なる由第二は露國にては皇帝は常人よりも低き方なるが皇后は頗る美にして威厳ある婦人にて其丈の高き事、皇帝は皇后の肩の處迄の高さなりといふにて明かなり第三はイタリヤにて皇帝ヴイクトル、エマヌエルは皇后ヘレナの肩の處にも及ばぬ程の小男なりといふ又第四にポルトガル國にては皇帝は皇后より餘程低けれど體の非常に肥へたる人なれば丈の低きを横に肥へたるにて補ひて餘りありとぞ

◎**三百年來**　一度金庫に據ゑられたるまゝ少しも動かされざる銀塊英國の英蘭銀行にありとぞ此銀塊は一千六百九十六年に金庫に收められたるものなりとぞ

◎**英國ロンドン**　の殺人事件は過る十年間に十六件ありたる由なれど不思議なる事には其内一件も犯人の發見せられざる事なり

◎**奇妙なる統計**　は生命保險業者によりて得られたりこは歐洲にての事なるが平均男は其妻を失ひてより九年間生延ぶるものゝ由なれど女は其夫を失ひてより平均十一ヶ年間生延ぶるものなる由

◎**くさめ木**　といふものアフリカの内地にありといふ、此の木は妙なる性質にて鋸を以て切る時に木の粉が鼻に入るが此粉は人にくさめせしむる力ありて如何なる人も決して之れを止る事は出來ぬものなりと、此木は虫類も決してかじる事なく木の味は苦く木片は水中に投ぐれば必ず沈むといふ

◎**海龜の生擒法**　は西印度地方に於て行はるゝといふ、其法長き絲の先きにサツカーフイツシユといふ鱗を以て他のものに吸付く魚を付け置きて海中に投ずれば魚は直ちに龜を見付けて、固く吸付くなりと夫より漁夫は糸を引く時は魚龜共に引き上られ容易に生擒する事を得るなりとぞ

最上清酒

●世界長は攝州灘御影小網與八郎氏の吟釀にして數十年來江湖の高評を博し尚殺菌しあれば腐敗の憂ひ毫もなく衛生上無害有効にして且又壜詰なれば日々に用量を定めて飲用せらるゝを得て攝生家及規律を尊ばる貴婦人間に最も重寶とせらるゝ處なり
發賣元
東京日本橋區てりふり町通堀江町四
高橋商店
電話浪花千五百六十一番

●洋酒●鑵詰●洋食料品●食器具類
壜詰　一升入 四合入 二合入の三種
取次販賣所　全國重なる洋酒鑵詰商店及酒店

●村井弦齋著●五月十五日發行
速に御注文あらざれば品切れとなる恐れあり
增補註釋 食道樂續篇 春の巻
定價金八十錢　郵税金十錢
●口繪●村井弦齋及居士肖像 弦齋式料理服着用弦齋夫人多嘉子肖像 寫眞版
●附録 新案野菜料理百種 是は弦齋居士が實驗の上考案したる新式の和洋折衷料理なり
發行所　東京麴町區有樂町 報知社出版部
大賣捌所　東京銀座大通新橋際 新橋堂書店　東京神田區表神保町 東京堂書店

(本場の特色)
日本第一の大勸業場
◎あらゆる物品を最も格安の正札附にて陳列販賣し御買上品は市内無賃で配達致します
◎御進物用物品切手を發賣して御望の品と引換ます
東京新橋角
電話新橋(一六五二)(二三六二)
帝國博品館

登録商標
羽おり紐
帯しめ
市内ハ御用命ニ節ニ店一報次第ニ伺仕候
東京よし町
伊竹組糸鋪
電話浪花一五六
定價表ハ御申越次第直ニ呈送仕候

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

現代著名の女教育家序　法學士　草刈融先生著

法律上女子の地位

一、本書は帝國制度の如何に女子を待遇するかを說き又外國との關係に於ける女子の位地を明かにし大に我帝國婦人の權利を發輝するにあり

二、本書は國法の不識よりして其不利益と屈辱とを受くるの女子をして之を免かれしめむとするにあり

三、本書は專ら平易なる文言を用ひたるを以て何人にも一讀能く其意を了得せらるべし

◉第一編總說第一章權利◉第二編女子の公法上に於ける地位第一女子と參政權（內容、官吏任用、政治參與其他公權）第二章女子と教育制度第三章女子に關する犯罪第四章女子と科刑第五章女子と外交官第三編女子の私法上に於ける地位第一章能力第二章婦母と庶子女子の能力第十四章夫の國籍得喪と妻第十居第五章婚姻（內容、成立條件、無效及取消）第三章女戶主の入夫婚姻第四章女戶主の隱居第五章婚姻（內容、成立條件、無效及取消に生れたる子竝に外國に於て生れたる子六章（內容嫡出子、及庶子、）第七章財産制、離婚）第八章女子と後見第九章女子と扶養義務第十章女子と家督相續第十一章妻と遺産相續第十二章女子と遺言第十三章商事に關する五章外國人との結婚第十六章外國人との間

菊版總色クロース製脊白字表銀模樣入頁數約百五十頁
定價金六十錢（郵稅六錢）
豫約金五十錢（郵稅六錢）
豫約期限　六月廿日
製本　六月廿日
五部以上申込は一割引

發行所　東京市神田區錦町一丁目拾貳番地　松華堂

出張　元

久留米がすり

六月一日より五日迄大賣出し
景品呈上仕候

日本橋區蠣殼町二丁目水天宮向角　久留米や本店

神田區表神保町四番地一ッ橋通り　久留米や支店

產科婦人科專門病院長　渡邊光次先生講述

衞生講話　婦人の友

本書は姙娠論の著者として有名なる渡邊先生が多年の經驗に基づき婦人の平生、結婚、姙娠中、出産時及び産後の養生に至る迄細大漏さず加ふるに小兒養育法を以てし書中を五編百數十項に分ち最も親切談話的に講述し一々平假名を附しあれば如何なる人にても解し得べし衞生を重んぜらるゝ家庭は勿論婦人として缺くべからざる最良の友なり

一名　育兒　紙數三百餘頁
正價金五十錢　郵稅六錢
姙娠の要訣　安產

發行所　神田鍛冶町　電本九四九　誠之堂書店

めりんす友染

東京人形町通り

雜誌の新聞

◉麻生正藏氏　米國に於ける男女學生の交際を論じて曰く私は、始めて男女混合教育をやり出したといふオベリン大學の女學生寄宿舍に一週間ほど泊りました。私の泊つた部屋は舍監室の隣り、二階には多くの女學生が寄宿してゐたのですが、三度の食事毎に必ず男子學生が來て、一緒に食卓に就くのでした。そして晚餐後三十分間程は、眼隱しや、鬼ごッこや、舞踏などをして愉快に遊び、定つた時間が來ると、女學生は各自の部屋へ、男學生はまた自分の寄宿舍へと歸つて行くのです。その有樣は極く打ち解けたものですが、然しその中にも自ら嚴格なところはあるので、男女學生がお互に友達になるといふのは、お互の家庭が知合であるとか、鄕里が一つであるとかいふやうな關係のものであつて、決して初對面の者と輕々しく交際するやうな事はありません。つまり米國の社交界には男女の交際が進んであるから、從つて學校にもその風が入つて來るので米國男女學生の交際は米國社會の一部であるのです。（婦人世界五號）

◉松本孝次郎氏　兒童をして自然の美に接せしめよと論じて曰く自然の美を高尙なる趣味を以て樂しむと云ふとは青年期にならねば起らぬことであるが、しかし自然に接して之を喜ぶの傾きは、早くよりあらはれ來るもので、又家庭に於ても早くから精神を養ふやうに注意すべきである。庭園に於て兒童を遊ばしめ、又は公園郊外などに散步を試むる際に自然物に注意せしめ、又は之を利用して美的裝飾を爲す等のことは、美育を與へるよき機會である。況んや我が國の風俗としては生花、盆石、盆栽、箱庭等の如き、自然の美を樂しむの精神よりして種々の技術を生じ來りて、家庭の中にありて趣味を養ふべき方法は、なかなか多く備はつて居る。これらの風を利用するときは頗る利益多きものである（日本家庭三ノ三號）

◉海老名彈正氏　兩性の愛に關して、日本は三たび之が解釋を試みたり。第一回は佛教渡來の時にして、佛教は之を絕對的に不潔不淨なりと認め、男女各自に別天地を作らしめむとし、遂に生涯男子に交らざる多くの尼僧と、妻子の恩愛を捨てゝ、身を雲水に托する多くの世捨人とを出すに至りたり。第二回は儒敎の敎訓也。儒敎は家庭に於ける夫婦の高潔と子女の貞操とを嚴守せしむる爲め、男女席を同ふせざるの敎を立て、此主義を一貫せしめんとして、德川時代は青年男女間に幾多の悲劇を見たり。斯くて今日に及び、維新以前の格式は全く破れ、古來の禮儀は多く變化し、男女間の相愛問題は亦復赤裸々となりて再び吾人の眼前に橫はれり。之を第一回の如くに解釋せむか。吾人は其可なるを見ず。之を第二回の如く解釋せむか、吾人は亦其可なるを見ず。然らば竟に之を奈何にすべき、要は之が議論に在らずして實行の手段方法にあるのみ。如何なる好手段にして發見せらるゝとも、各自の精神にして昔日の如くならむか、また何の甲斐もなかるべきに非ずや（女學世界六ノ卷七號）

◉山田源一郎氏　家庭の音樂を盛にするには女子が大に之を研究するの必要がある女子即ち主婦が家庭の中心となつて居るから、此の主婦に音樂的趣味は勿論、音樂的の教育が無ければ、家庭は無味乾燥となるのであらう。所が今日一般の有樣を見るに一家の主婦であつて音樂の素養ある者は誠に少ない、中には琴、三味線ややる者はあるけれども、これも不充分である事は免れない、ピアノやヴアイオリンなどの素養ある者は殆んど無い。併し今日の老主婦に音樂を學べといふのは無理な注文であるから、たゞ其の娘子供に是非音樂的素養を與へる事をしなくてはならぬ。これ家庭の義務である。音樂のない家庭は眞にあはれなもので決して幸福ある家庭ではない。（敎育時論七五九號）

優等撰製鰹節

當名ブランデ

美成留武士

原品は弊店賣品中最も品質の佳良なるを撰み吟味精製仕候もの其の衞生的滋養分に富みたる事は顧客各位の舌頭に委す

硝子瓶詰　該品は夏季御貯に相成萬一變味有之候節には御取替可申上候

甲　金五十錢
乙　金卅五錢　該品は御湯治旅行御弘帶又は御常食として體力を增し便益なる料品に候
丙　金參拾錢
丁　金貳拾錢　該品は御老人方御病人又は勤務御辨當の菜に絕好なる者寶品に御座候
戊　金拾五錢　尙又弊店販賣品御持參品を探み差上申候間御注文の程偏に奉希上候

其他は入物御持參の方には一層安價に差上申候

器物は御注文に應じ取分け御進物には美麗に調進仕候

製造發賣元　東京日本橋區室町一ノ六

植山巳之助　電話本局千五百十九番

貴金屬漆器
陶磁器七寶
牙角古今書畫
縱覽販賣所

東京市京橋區銀座三丁目

美術品店　合資會社　生秀館

電話新橋一一六一番

割引

愛國婦人御注文の方には見て記入は

六月廿三日迄特別割引をなす

文明の利器　◎世界第一最新式ミシン機械也

シンガー裁縫機械販賣店

嫁入の要具　◎嫁入には出張敎授の便法あり

日本橋區岩附町　十軒店東裏通り　電話本局六八四番

女學通信教授

●本會は伏見若宮妃殿下を名譽總裁に戴き鍋島侯爵夫人會長として會務を統監す

●小學卒業後進んで高等女學校に入學し難き事情ある女子達は本會の通信教授に依て家庭に居ながら必須の學科を修められよ

●本會發行の講義錄は高等女學校の科目よりも一層多數の諸學科を網羅し第一流の名家を擇びて講義を囑托せるものなり

●本會は高等簡易の兩科を設け女子素養の程度に應ぜしむ月謝は高等科四拾錢簡易科二十錢とす目下入會に都合よし會則は葉書か電話にて請求あれ（電話番町一二三〇）

東京市麴町區下二番町三七　大日本女學會

新もよう

伊勢のゐ地

玉善染

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

斬新材料
舶來薄絹シホン
ホワイト
リープス
郵券五錢御送付相成候はゞ見本進呈可仕候

各女學校御用
附屬品幷に造花器械類一式

東京市日本橋區横山町一丁目十六番地
天野卯兵衛
電話(長)浪花一六四三番

營業目錄御入用なれば愛國婦人を見てと御書添へ御申越被下度候

よく當る人相見は
日本橋區通リ四丁目東横町
玄龍子ならん

煉香油
パール
貴婦人用
紳士用

歐米化粧品輸入商
東京濱町一　電浪一一〇
平尾分店
香油ゴールドオイル發賣元

めをはくし
ハミガキ

●色白く艶をだす
松澤ホーサン石鹸
（大形一個廿錢 小形一個十錢）
●近頃にせ物多し御買求の節は商標及松澤名義に御注意
●當市内は勿論到る所賣藥小間物化粧品店にて販賣す

東京本石町四丁目
芳香藥種問屋
ムスク香水本舗
松澤常吉

本店　神田區小川町電話本局四八九番
甲斐絹屋
支店　京橋銀座貳丁目電話新橋八三三番

英學生（一冊三錢）東西社

胃病良藥
太田胃散

四月一日より
第十一回新柄陳列會
凱旋紀念桃山式新製品陳列
寄せ切れ見切り反物大賣出し
意匠參考時代品陳列
懸賞圖案江戸褄模樣陳列

東京日本橋區駿河町
三越吳服店

◉會員大募集——目下入會の最好機なり
四月廿四日第一號發行

▲事情があつて高等女學校に入る事の出來ぬ人の爲めに『女學講義錄』を發行し僅に二ヶ年間に高等女學校程度の教育を完全に正則に授けます
▲世間の講義錄は乾燥無味で面白味がありません、本會講義錄は此點に注意し、諸學科の講義何れも面白く極めて分り易いようにし、且つ有趣有益なる數十頁の雜錄の外に、美くしい家庭小說を毎號附錄とします

▲本會の講師は皆な斯道專門の大家で且つ教育に充分經驗のある方のみです、講義は只親切と云ふ事を主として丁寧懇篤に說いてありますから本會々員は恰も講師の膝下に在りて講義を聞かれると同じ事です
▲本會の講義錄は右に述べた通り最も完全したものでありますが、會費は極めて少額で都合一ヶ月の遊學費で優に全部を終る事ができます

新學期開始
大日本淑女學會
高等女學校程度の講義錄發行

批評一班
▲中央新聞評　講述何れも平易にして親切を極めたれば初學の講習に最も可也
▲毎日新聞評　米國の通信教授法を參酌せるもの文字平易說明懇篤を盡くせり
▲二六新聞評　高等女學校の全課程を講了すべく各講述者の態度頗る着實なり
▲日々新聞評　講義はすべて平易と親切とを勉めて毫も難解の憂なきに似たり
▲都新聞評　講義平明用意親切なれば數多き女學雜誌中一領域を拓き得可し
▲報知新聞評　講義錄多しと雖も實益と趣味と併せ有する事斯くの如きは稀也
上揭の批評を御覽にならば本會講義錄の眞價がお分りになりませう

▲本會規則書▼
端書にて申込あれば直に郵送す可し
◉東京神田南甲賀町
大日本淑女學會
電話本局三千四番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

東京市麴町區錢瓶町（常盤橋内）

日本興業銀行

電話本局（三、三〇〇番 四一番）（特）三七番 一〇二番

一定期預金　年五分
一當座預金　日歩七厘
一特別當座預金　日歩一錢

東京市日本橋區通一丁目

合名會社 森村銀行

電話（特）本局六七三番

定期預金 六ヶ月以上 年五分五厘
當座預金 百圓に付日歩 八厘
特別當座預金 同日歩 壹錢壹厘

北辰社牛乳は最も滋養に富む

明治十九年二月十四日一等褒賞を受く

北辰社精製のバタは味佳良

明治十九年三月十四日鑑定狀を受く

コスト乳菓

小兒ノ發育期ニ用ユレハ其効驗著ナルモノアリ最モ證明スルモノナリ

說明書ハ横濱郵便局私書函第五十八号コスト乳菓部ヘ御申込アレハ無代價ニテ進呈ス

代理店 横濱市山下町廿八番館

米國貿易商會

◎牛豚肉販賣及西洋料理◎

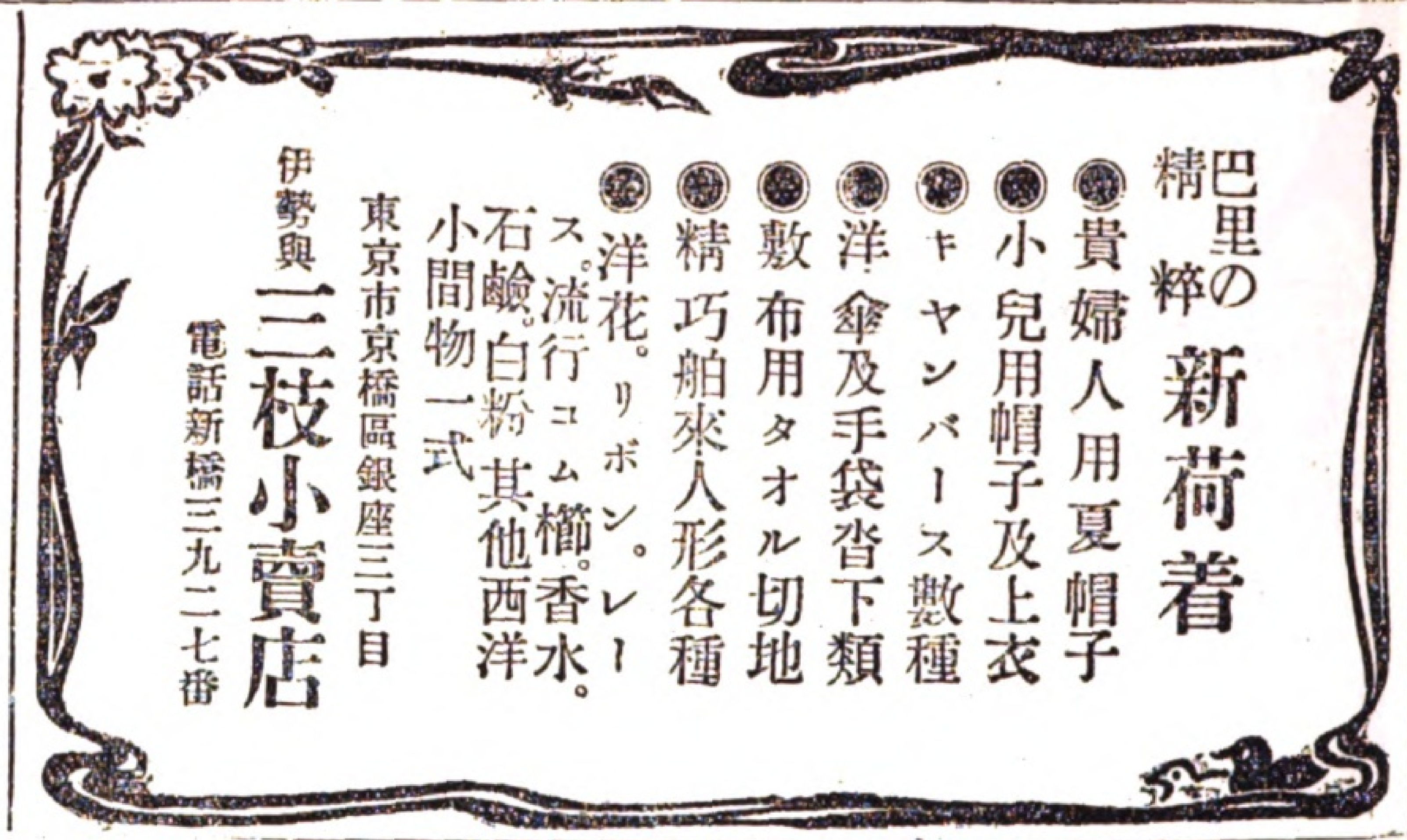
◉品質佳良の肉類廉價に販賣候
◉配達は迅速に且つ正確に致候
◉滋養と風味の西洋料理調製候
◉西洋料理出前は格別相働き候
◉米店は精撰の白米廉價販賣候
◉御注文は電話又は葉書で願候

小石川表町 電話番町六五九 西川本店
廿二番地

本郷區駒込東片町五番地 電話下谷二二七一 西川支店

小石川表町十一番地 電話番町一四六一 西川洋食店

小石川表町十八番地 米穀商 西川嘉門



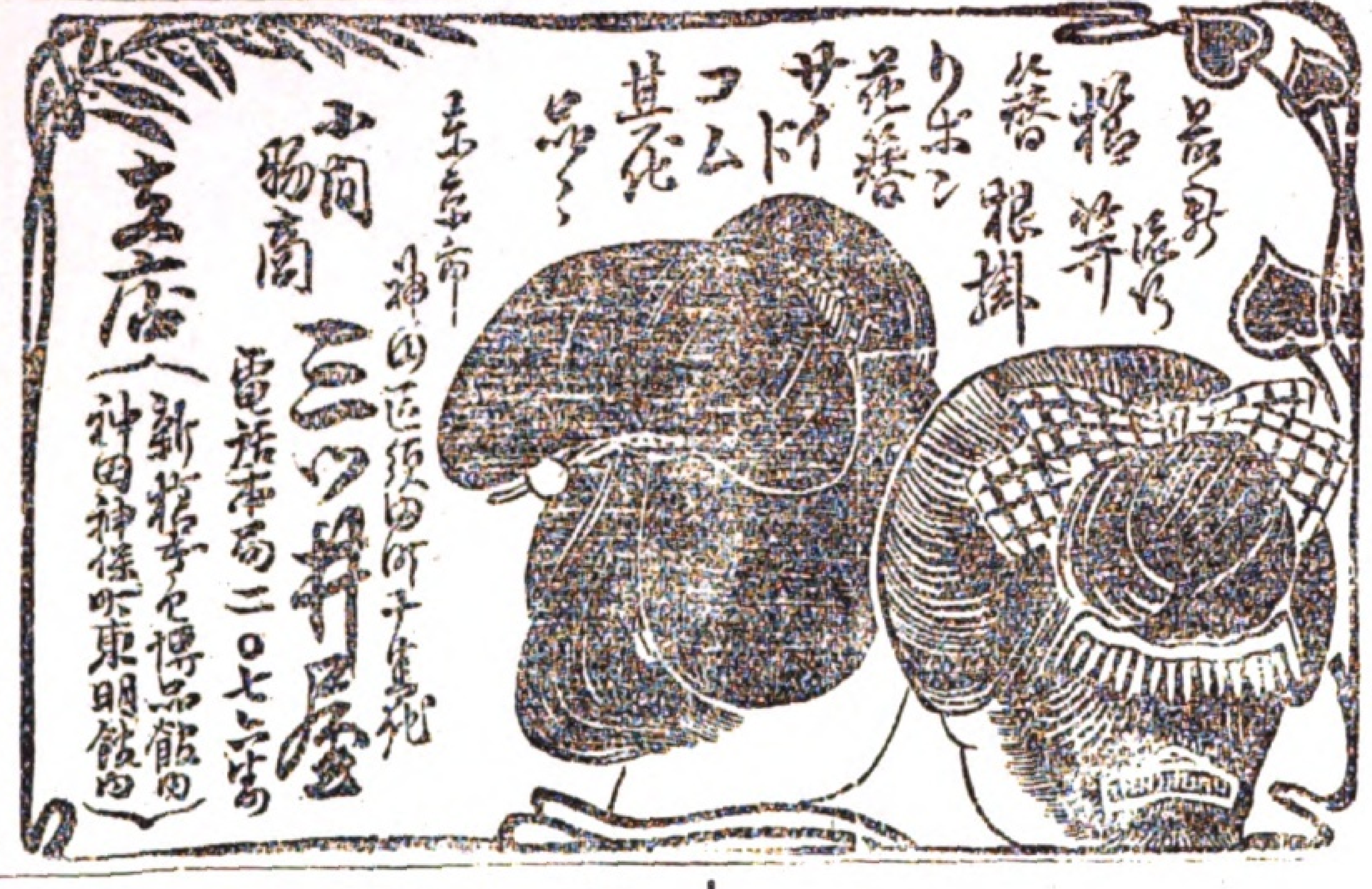
巴里の精粹 新荷着

◉貴婦人用夏帽子
◉小兒用帽子及上衣
◉キヤンバース數種
◉洋傘及手袋沓下類
◉敷布用タオル切地
◉精巧舶來人形各種
◉洋花。リボン。レース。流行コム櫛。香水。石鹼。白粉其他西洋小間物一式

東京市京橋區銀座三丁目

伊勢與 三枝小賣店

電話新橋三九二七番



徳の親玉

卸部 東京日本橋區長谷川町 美濃磯本店 電話浪花二八五九番

小賣部

本郷區本郷五丁目 美濃磯本郷支店
淺草區諏訪町 電話下谷一四一五番 美濃磯淺草支店
日本橋區佐内町 美濃磯佐内町支店
神田區小川町 美濃磯神田支店
深川高ばし際 美濃磯支店
芝區新櫻田町 小田商店
牛込區神樂町一丁目 伊澤商店
四谷區傳馬町一丁目 伊澤支店

醫院案内

院長 醫學士 烏山南壽次郎
午前診察 午後往診
京橋區鎗屋町十一番地
電話新橋千七百四十六番
烏山内科院

内科小兒科 特に 吸呼器病
麴町はやぶさ町二十八番地
ドクトル 川瀨元九郎
電話番町八二二番

院長 醫學博士 榊順次郎 每日午前診察
副院長 醫學士 久保徳太郎 每日午後診察
東京麴町三番町十三（電話番町三九五）
婦人科產科 榊病院

小兒病診療
宅診午前 往診午後
淺草區福井町貳番地
醫學士 内田愼太郎
◉電話下谷七一八番

◉婦人科
◉小兒科專門
午前宅診 午前往診
東京市麴町區飯田町四丁目九
女醫 鷲山彌生

◉產科婦人科
◉京橋區南鍋町一の一角
◉朝 八時より正午
◉夕 五時より八時
醫學士 伊庭秀榮

神田區西今川町三番地（電話本局三〇一九）
内科病特に脳脊髓神經疾患
院長 ドクトル メヂチーネ 峰秀世
峰内科醫院

東京神田錦町參丁目 電本七一五
診察午前午後 入院隨時
院長 醫學士 山口秀高
山口眼科病院

東京神田區美土代町三丁目十七番地
午前宅診 午後往診
電話本局貳千九百七十番
内科一般 板垣亭

東京日本橋區濱町三丁目七番地
產科婦人科 楠田病院

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治三十九年五月廿日發行(毎月十日二十日二回)

洗用ワツセル

◉此ワツセルは油じみ油あか如何なる汚れでも揉ずに必ず落る石鹸曹達の如く布を損傷せず染色を褪さず費用と手數を省く經濟上有利なる日用品であります
◉用法は湯一升に二匁(小杯へ半分餘)の割合にて溶解し洗濯物を凡二時間浸し揉ずに置き後湯又は水にて洗へば自然に脱ます シヤツの如きは(拾貳匁)入一本にて貳百枚は必ず洗へます御婦人の髮は一匁五分を一升餘の湯に溶解してかもじを洗う用に揉ずに洗べし左れば玉子で洗た樣になります又食器臺所道具を拭き掃除にも有効です

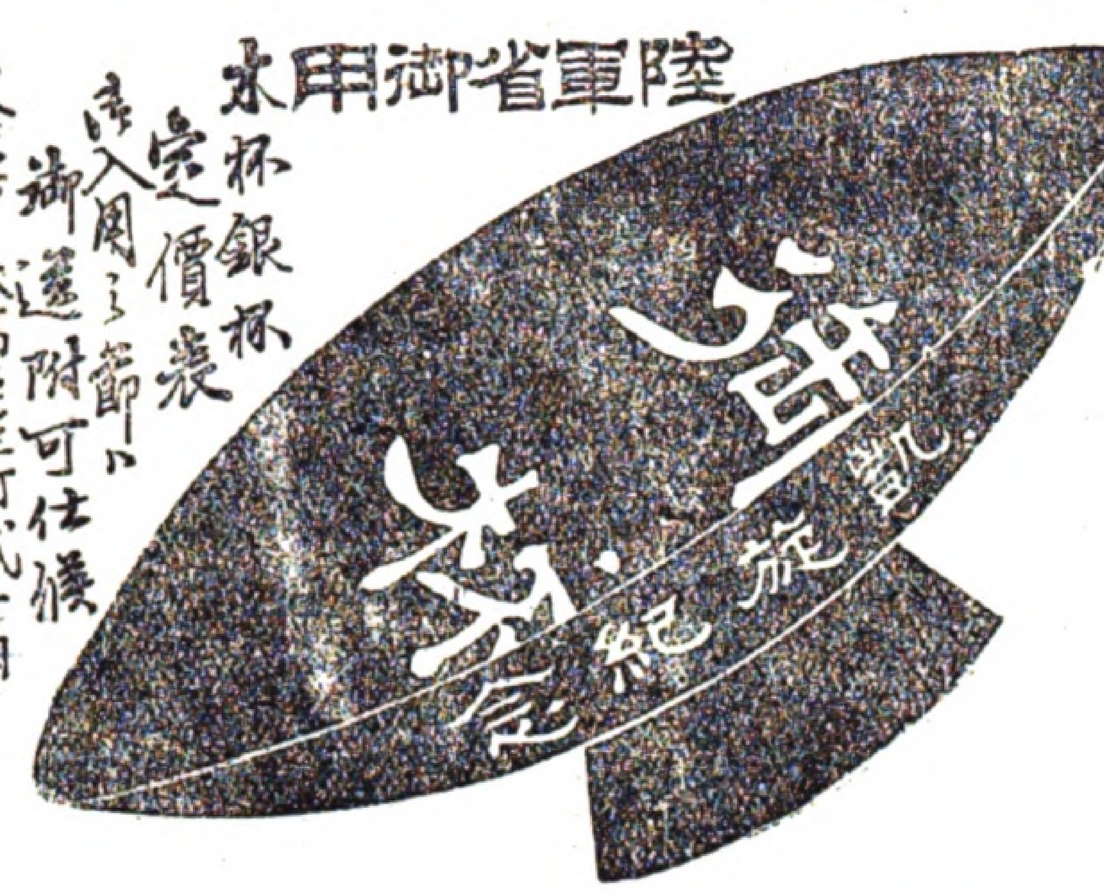
定價 拾貳匁入 金八錢 六拾匁入 金拾五錢 袋入二錢

芳香御肌洗粉ワツセル

◉此肌洗粉ワツセルは當時歐米各國貴族社會に流行する芳香類を加味し製造せしものなれば朝夕御使用の方は香氣馥郁として肌持晴々す又おしろいしたを用ひずして御化粧が出來ると妙なり

定價 最上 金七拾五錢 金貳拾錢 普通 五拾錢 六錢 參拾錢 三錢 拾七錢

東京市京橋區三十間堀三丁目 電話新橋一七一二
英國製ワツセル日本一手販賣元
御肌洗ひこ芳香ワツセル製造元
三友商會



陸軍省御用
木杯 銀杯
定價表
御入用ノ節ハ
御送附可仕候
東京市日本橋區室町貳丁目
木屋本店
漆器時繪商
林九兵衛
電話本局 特一七一〇 九九七

女子作文作歌辭典

文學士 岡田正美校閲
關西大學講師 宮脇郁著
製本既成

花笑ひ鳥歌ふ文作るべし

◉世間作文作歌に關する辭書少からず雖も何れも一長一短あるを免れず中には一夜にして成りたるが如き杜撰極まるものありて實用に適すべきものは曉星も啻ならず殊に**文と歌**とを一冊子に纒めたるものに至りては恐らく世間未だ嘗てこれあらざるべし本書は著者が多大の注意を拂ひて編纂せられたるものにして從來の歌文書は及ぶ限り廣く參考し苟も有益なりと認むる語句は悉く之を採擇し且つ昔日に適して今日に適せざるものは一々改竄を加へて所謂化腐爲新の面目を顯したり本書は歌語文語の方面より見れば一部の**美文韻文辭典**なり作例の方面より見れば一部の**歌文集**なり出典語釋の方面より見れば一部の**故事熟語辭典**なり即ち一書にして三書を兼ねたるものなり加之題毎に一々作法の大意を示し類題を掲げ名所古跡を示す等注意周到にして近來の出版物中優に一頭角を現したるものといふも決して溢美にあらざるを信ず希くば滿天下の貴女諸君幸に一讀の榮を賜ひ以て此の言の誣ひざるを證せられんことを……

◉四六判總クロース優美製本舶來紙刷五百餘頁◉定價金壹圓◉全壹冊 内地送本料金十錢
◉五月卅一日迄 **大景品附特價金七拾錢** 引換小包金五錢増
◉内容見本御望の方は往復端書にて申込まれたし

本書は學藝奬勵のため貳萬部に對し左の**大景品并に書籍券を挿入す**
◉金五圓書籍券五十枚(二百五十圓) ◉金壹圓書籍券二百五十枚(二百五十圓) ◉金五十錢書籍券五百枚(二百五十圓)
◉金二十五錢書籍券一千枚(二百五十圓) ◉雅俗對譯國語辭林二萬部定價(三千圓) ◉景品書籍券金高總計金四千圓

▲發行所 東京市京橋區北槇町二番地(電話本局二六二三番) **參文舍**
▲發行所 大阪市東區南本町四丁目(電話東三三八四番) **積文社**

風清く月白し歌詠むべし

婦人藥王 中将湯

子宮病 血の道
さん前 産後
のぼせ 頭痛
腰足冷込
下腹痛み
月經不順
白血 ふか血
其他婦人病
一切の特効藥

定價 [illegible]

本舗 津村順天堂
東京日本橋區通四丁目
支店 大阪堺筋大寶寺町南入

新公論

愛國婦人愛讀の諸姉に推薦す

日本全國で雜誌の數は千以上有ります之れを一々讀むことはとても人間業では出來ません新公論は繁劇なる文明社會に最も歡迎せらるゝ英米「評論の評論」に倣ふて毎月内外の必要な雜誌から有益で面白き材料を集めて紹介します本誌一冊を讀めば東京と世界の最も新しい思潮が一目で分る日本一の重寶な雜誌であります。

▲一冊郵税共十三錢 一年前金郵税共一圓四十二錢 ▲毎月一回一日
▲大取次 東京神田表神保町 東京堂 同神田表神保町 上田屋

健全なる家庭に無くてはならぬ雜誌

發行所 東京本郷東片町百十一 新公論社

戰勝紀念ピン

銀金の地金に七寶の彩色うるはしく圖案は孰れも陸海軍を象れる優美なる意匠に成れるもの世の紳士淑女たちはその各胸間に飾りて此の千載一遇の皇軍大勝利の紀念としたまへかし。

定價 純銀製一個 金三十五錢以上 餘は御好み次第迅速調製可仕候

手釦は孰れも陸海軍を象れる優美なる意匠を凝らしあれば世の紳士たちは洋服に飾りて皇軍大勝利の紀念としたまへかし。

此圖案の外陸海軍連勝にちなめる斬新の意匠を凝らしたる提物澤山出來致居候

宮内省御用達 **玉寶堂**
東京市下谷區池の端仲町
電話下谷 特九六五番 一二四四番

見よ最も幸福愉快なる新生活法

新時代の生活

五月十日發行 實業之日本 臨時增刊 正價廿貳錢 郵税貳錢

一日を愉快に暮らし一生を幸福に送る秘訣を見よ

▲生活教訓―十大雄篇
▲愉快に生活する法(是英國の大家ジヨンラボック氏の一大名著にて生活法の聖書也)
▲日常生活座右銘(是偉人華翁が千載不磨の教訓)
▲フランクリン生活法實驗教訓(是富翁が不朽の大文字)
▲最良の生活法(米國グランビル氏の名著十數版を重ぬ)
▲幸福なる生涯(貴賤貧富を問はず本篇を一讀する者は幸福者也)
▲人生の義務(佛國の大家ペルチエ氏の傑作として喧傳せらるゝもの)
▲現代新生活術(英國の大家フヰロチー氏作現代に適切なる生活術)
▲人生の樂しみ(ラボック氏の雄篇は眞に人生の好福音)
▲逆境生活に輝ける光明(英國の大家ラツク氏の教訓)
▲生活を愉快ならしむる談話術(英國の名士マーフアー氏の傑作)

東京京橋南紺屋町十二 電話新八七四 **實業之日本社** 賣捌 全國各地書店

愛國婦人廣告取扱
京橋區數寄屋橋外 弘報堂
神田千代田町 博報堂
京橋區南紺屋町 一星社
京橋區南鍋町 秀逸堂
日本橋區上槇町 萬年社
日本橋區箱崎町 春風舍
京橋區宗十郎町 正路喜社
京橋區日吉町 帝國通信社
同區彌左衛門町 京華社支店
同區南鍋町 廣告社

▲定價及廣告料 一部金三錢△一ヶ月六錢△半ヶ年三十六錢△壹ヶ年七十二錢△郵税不要△廣告料一行六十錢

發行兼印刷人 山澤俊夫 編輯人 手島益雄
發行所 東京麹町 愛國婦人發行所 印刷所 秀英舍

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人會記事

式次第書

一、第一　喇叭　參列者入場（午後一時）
二、第二　喇叭　君が代吹奏
皇后陛下臨御（一同最敬禮）
三、會長開會の辭
皇后陛下御令旨
四、總裁殿下奉答
五、總裁殿下有功章御親授（總代一人）
六、事務長會務並に會計報告（書類代用）
七、第三　喇叭　君が代吹奏
皇后陛下入御（一同最敬禮）
八、第四　喇叭　會員退出

明治三十八年度愛國婦人會事務成績報告

明治三十八年度は尙ほ有史以來未曾有の大戰役中に際し本會か方に活動すべき時機たりしを以て　總裁閑院宮妃殿下の令旨と御庇護の下に本支部ともに時機に投じたる適宜の方法を取り本會主旨の貫徹と事業の擴張に盡瘁せり其結果同胞諸氏の同情と援助を得て遺族癈兵の救護慰藉に會員の增加に寄附金增額に於て未だ曾て見ざりし好成蹟を呈したり尙ほ遺族癈兵授產事業の如きも岡山、京都、大阪、岩手、東京、三重、山口、青森、石川、愛媛、香川等の諸支部に於て熱心講究し既に實施をなし好果を擧げつゝあり爲めに本會が定期又は臨時の救護以外に於て尠からざる救恤慰安の道を與へ本會が期待せし好望の域に進みつゝあり又各地に於ける愛國婦人會員が熱心奮起出征軍隊の歡送迎幷に其遺家族傷病兵の慰藉に盡瘁したるは內外一般の認識したる所也要するに本年度は本會主旨の適切なる實行を見たるのみならず本會員が戰國の婦人として稍や遺憾なき活動をなし幾多方面に日本婦人の神髓を發揮したるの跡あり大山元帥東郷司令長官の陸海軍人を代表して本會に對し感謝の意を述べられたるは本會の特に滿足する所にして又曩に本會第四回總會に當りて畏くも　皇后陛下の御行啓被仰出御令旨を辱ふし尙ほ戰局後　皇后陛下より本會が慰安存恤を嵩せるを嘉すとの御令旨を拜戴するに至りては本會の光榮亦極まれり今や年度事務成蹟報告を爲すの期に當り簡略に事務の要を各項に區別し報告すること左の如し但戰局に關する記事は既に之を一括別冊としたれば茲に之を省略せるも就中各支部の活動したる實況を統計し爰に其表を發刊す（別冊）然れども此表たるや未だ完全のものにあらず蓋し支部中報告未濟のものあればなり

▲皇后陛下の御令旨　三十八年四月二日本會第四回總會開會の節は畏くも　皇后陛下の行啓を辱ふし左の御令旨を賜ふ

本日愛國婦人會の總會に臨み茲に各員を見るを喜ぶ殊に今回の時局に際し本會が能く救護の實を擧けつゝあるは滿足の至りなり尙將來事業の益す盛ならむことを望む

▲戰局後　皇后陛下の御令旨　廿七八年役結了後則ち三十九年二月廿一日岩倉會長を宮中に召され　皇后陛下より左の御令旨を賜はりたり

明治三十七八年戰役に於て陸海軍人の慰安存恤に努力し克く其蹟を擧けたるを愜ふ

▲會員拜謁を賜ふ　本會の會務を帶びて東北及四國地方に出張せし本會々長岩倉久子理事大山捨松清浦錬子東郷鐵子を卅八年十一月六日午前十一時宮中に召させられ　皇后陛下拜謁を賜はり親しく各地支部の狀況を御下問あらせられたり偶々會長は病氣不參諸氏皆賜はり物あり

▲總裁閑院宮妃殿下の令旨奉答　三十八年四月二日本會總會に於て總裁殿下は左の奉答文を奉れり

今や愛國婦人會は畏くも　皇后陛下の親臨を辱うして爰に第四回總會の式を擧ぐるを得且特に優渥なる　令旨を賜はりたるは本會無上の光榮にして全國の會員は勿論軍人遺族及び幾多癈兵は當に恩旨の厚きに感泣すべし　抑々本會は創立日尙淺しと雖も曩日　兩陛下並に　皇太子同妃兩殿下の特別なる御補助を蒙り一般の婦人も亦深く感發する所ありて陸續本會の主旨を贊同し加盟するもの絕えず現に會員は三十有六萬の多きに達せりされど今回の戰役は規模極めて宏大にして其狀況又悲慘を極め我至仁至慈なる　皇后陛下の特に軫念を垂れし給ふ所なり本會員たるもの克く時局に鑑み益す奮つて同心協力事業の擴張を謀り　陛下の懿旨に副ひ奉らん事を期すべし肅みて奉答す

▲戰局後總裁殿下御諭旨　廿七八年戰役結了後則ち卅八年十月四日總裁殿下より左の御諭旨を賜はる

曩に我が國不幸にして露國と砲火を交ふるの止むを得ざるに至りし時本會職員に望むに特に時局に鑑み努力事に膺るべきを以てせり諸氏克く其意を體し以て之が遂行に努められたるは我が大に喜ぶ所なり今や我が
皇の御稜威と將卒の忠勇とに依り國威を中外に宣揚し戰局亦將に其終りを告げんとするに當り顧みて戰死者幾萬の遺族と傷者との將來を考ふるときは其救護の特に一層切なるものあり本會は今日以後益々奮勵努力して克く此事に從ふべきの急なるを覺ゆ若し夫れ現時の規模尙之に應ずる能はざるが如きあらば更に其良法を講じ以て本會の實務を完うするに於て遺憾なきを期せよ

▲本會總會及び支部總會　四月二日本會は第四回總會を開き畏くも
皇后陛下の行啓を仰ぎ總裁殿下並に名譽會員各殿下の台臨を辱ふし
皇后陛下御令旨を拜戴し總裁殿下奉答あらせらる會長は祝辭を朗讀せり
陛下御面前に於て功積及寄附金者へ總裁殿下より有功章を御親授あらせられたり　陛下には特に優渥なる聖旨に據り會長理事評議員支部長總代へ拜謁を賜はり其他は御通行の節拜謁を賜はりたり朝野の貴紳佩有功章者を招待す此總會に出席せし會員約八千人に及べり
支部總會及び發會式を擧行せしは京部高知、大分、岩手、青森、福島、愛媛、香川、德島、群馬、沖繩、鹿兒島十二支部にして悉く總裁殿下より御諭旨を賜はる又青森以下の支部には總裁殿下御名代臨式し軍人遺族及癈兵即ち本會の優待員を招待し參列せしものへは特に總裁殿下の思召に據り金二圓宛下賜又函館支部は發會式を開きたり
幹事部にして總會を開催せしは長崎支部下佐世保幹事部外十數箇所にして何れも會長より祝電又は祝辭を發せり

▲本會を法人組織となせし事
第四回總會の決議に基き本會定欵を其儘社團法人組織となすことを內務大臣に出願し認可を得たり且本規則支部規則等同時出願認可を受く尙ほ資產管理規則をも制定し同機認可を得たり
法人組織登記は四月二十四日を以て東京區裁判所に於て手續を終了せり

總會入場者心得

一　總會は廿日午後二時開會に付時限前に入場する事
二　君が代の吹奏ある時は敬禮の事
三　開會閉會等は皆喇叭號音を以て之を報ず（式場順序書參照）
四　會場は新宿植物御苑內に付入場會員は最も靜肅を旨とし植物を折採するは勿論御建物等に叨りに入るべからず
五　式後隨意拜觀妨げなきも御苑內道路の外は步む可からず
六　御苑內に於て不潔の行爲ある可からず但し便所の設けあり場所御不案內の時は職員に御聞取の事
七　開會前には式場に整列し喧噪に涉らざるやう各自注意ありたき事
八　入場者は入口受付に於て案內狀を出され紀念品引替劵を受領せらるべし又招待狀御持參の方は立食劵と引替へらるべし
九　紀念品は會場內一定の場所に於て交付す
十　會場內にては本、整、接、贈、茶の文字ある櫻花形の徽章を胸間に附着したる職員あり何事に依らず御尋ねあれば御便宜を與ふ

▲評議員會に於て決議の上實行せし重要なる事件
一、支部基本金管理は本部監督の許に支部に於て積立置くこと
一、軍人遺族癈兵の家族なる會員に對しては會費を徵集せざることに定む
一、本部支部の指定寄附金配當步合を定む
一、一時納金は基本金に繰入れ本部、支部に於て積立置くことに定む
一、本會に對し功積顯著なるものへ贈與する有功章は七寶製金色製、銀色製、三種に區分せるも尙ほ殊功者に贈與するため特別有功章を制定せり
一、贊助員出金は本部、支部に於て基本金となすことに定む
一、資產管理處分規則を制定せり
一、男子にして七圓以上一時出金せし者を贊助員とし贊助員章を交付することに定む
一、本年度より臨時救護として戰地に於て病死又は發病し後送後死去せし遺族へも金二圓宛贈與なす事に定む
一、海外委員部の規則制定せり
一、臺灣支部規則を制定せり

▲支部委員部增設及廢止のこと
一、臺灣支部韓國支部函館支部の三支部を設置せり又海外にありては上海晚香坡、韓國釜山に委員部を設置せり總務長官又は領事夫妻を以て支部長又は委員部長、顧問等に囑託せり從來の臺南、臺中、臺北、三支部を廢止し幹事部となし一般支部に於ける幹事部の取扱に準據することゝせり
一、本會創業以來功積取調のため評議員中に於て十名の詮考委員を選擧し查覈せり

▲本部及支部に於ける戰死者遺族の接待慰藉、弔詞の事
一、靖國神社臨時大祭々典即ち三十八年五月二日より同四日迄三ヶ日間牛ヶ淵公園に接待所を設け參拜遺族を接待す近縣支部の役員は援助として出張盡力せられたり又同神社大祭委員部詰として日割を定め約五十名づつ接待に補助を爲したり又紀念品として扇子一本袋入菓子一個其隨伴者等へも茶菓を饗せり其接待せし遺族人員一萬八千餘人なり何れも滿足を與へしことは當時の諸新聞紙上に於て揭載せるにても明らかなり
一、各支部中に石川、熊本、群馬、其他に於ても各師團、旅團、又は聯隊等に執行せらるゝ臨時招魂祭へ菓子又は紀念品等を贈呈し支部長以下幹事に至る迄出席接待をなせり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一、戰傷病死者あるときは慰問をなし又葬儀には本會及支部職員を臨式せしめ弔詞を呈し丙丁へ相當するものへは臨時救護金を與ふる等前年度の通りにして其數別表(別冊)の如し

一、三笠艦變災の際將士へ慰問、弔詞を發せり

一、各支部に於ては遺族癈兵家族へ麥稈並に經木眞田編製又は軍隊に被服裁縫等の職業を教へ又は幼兒保育所等を設置し自由に職業に就かしむる等の救護事業を開始し就中東京、大阪、京都、岡山等の既に前年度より繼續開始し大に遺族癈兵をして生計扶助を實行しつゝあり

一、陸海軍へ寄贈せし私製ハガキ其數百二十萬餘枚なり又本會發刊の機關新聞「愛國婦人」を寄贈せし數五萬枚にして此等は內地豫備病院の入院患者等へも寄贈せり又初夏の候に於て扇子二十三萬二千餘本を寄贈せり

▲陸海軍隊歡迎等

一、一月十二日本會並に東京支部職員等に於て新年互禮會を兼ね東郷聯合艦隊司令長官及上村司令長官を招待し岩倉會長より花束を贈呈せり當日は　總裁殿下始め奉り名譽會員殿下台臨ありたり

一、出征及凱旋あらせらるゝ各宮殿下及艦隊司令官、又は軍司令部其他凱旋將士を新橋及品川新宿の三驛に於て本會職員並に評議員東京支部職員を派遣し奉迎又は歡迎せり又有志者の寄贈に關する戰捷地圖を各一部菓子一袋づゝ寄贈せり特に東郷聯合艦隊司令長官並に大山滿洲軍總司令官に對しては會長及評議員一人同邸に至り紀念として金製手釦を贈呈せり

一、日本海戰捷を祝し東郷聯合艦隊司令官へ總裁殿下の御名により祝電を發せり同司令官より奉答謝電來る

一、總裁殿下台旨に據り奧村五百子野中彌知子富樫眞喜子をして滿韓出征軍御慰問せしめられたり

一、閑院宮殿下御凱旋を奉祝し兼ねて陸海軍祝捷會を開け當日は閑院宮殿下始め奉り總裁殿下名譽會員東伏見、梨本、兩妃殿下御台臨あり伊東海軍々令部長其他幕僚將校出席あり本會及支部職員會するもの約百八十餘名にして會長は祝詞を奉り殿下より御滿足に思召さる旨にて御餘旨を下賜せらる

▲救護金贈與及事業開始の事

一、三十八年度に於ける定期救護金を贈與せし人員五千六百十一名にして此金額一萬九千五百七十五圓なり又戰死準戰死(病死者を云ふ)者中丙丁に相當の者へ對し臨時救護として贈與したる人員八千八百八十六人にして此金額二萬五千九百八十八圓五十錢なり

一、砲兵工廠內電氣作業所爆發變災のため其重傷者へ見舞金百五拾圓を贈與す

一、上野教育會の施設せる訓盲所へ補助として金四百圓を與へたり蓋し軍人にして戰傷兩眼を失ふたるもの數名入所し居れば也

一、靑森福島愛媛香川德島支部總會の節遺族癈兵即ち本會優待員、特別下賜金一萬三千百八十圓を贈與す人員六千五百九十人なり

一、東北凶作に付該地軍人遺族癈兵へ贈與したる金二千二百五十圓なり

一、招魂祭の節參拜遺族へ接待したる金千八百圓なり

一、忠勇なる名譽の戰死準戰死者及癈兵(癈兵當分の內恩給令第九條第四項以上)へ優待門標同徽章を制定し交付せり其數約拾參萬人に及べり

一、各支部に於ては遺族癈兵又は家族困難なるものに臨時救護として音樂會及演藝會等を開き其純益金を以て臨時費に充てたる者其人員數多にして金額に於ても又僅少ならざりし東京市內に於ける一例を示すに京橋區幹事部の如きは約五千圓を得て追悼法會を開き參拜せし遺族に紀念品又は勸業債劵(五圓劵)一枚乃至二枚を與ふる等此他全國を通じて此種類似の會を開き救護せしことは無數にして金額の如きも數萬圓に達せり其詳細は他日に讓る

▲會長以下職員の支部出張　會務擴張の用務並に支部總會に臨場の爲め岩倉會長東郷三輪田稅所の各評議員は東北地方に出張し大山理事濟浦評議員は四國に出張せり

▲役員囑託解囑　本部顧問に大山元帥、東郷大將、法學博士高木豊三氏を囑託あらせられたり其他シャトル委員部長同顧問布哇同上桑港同平壤同上木浦委員部馬山委員部上海委員部顧問を囑託以上委員部職員は從來會長の名を以て囑託せしも委員規則制定の結果　總裁殿下御名に依りて囑托せられたり

▲國賓歡送迎　米國大統領令孃着京に付會長は花束を贈り其他職員及評議員は本會を代表して旅館を訪問し歸途箱庭盆景を贈呈す

英國東洋艦隊員入京に付司令長官ノーエル大將を新橋驛に於て歡迎し黑田評議員及武田評議員をして旅館を訪問せしめ造花籠を贈呈せり

▲役員慰藉弔詞發送　本會功績者故公爵近衞篤麿氏一年祭同顧問男爵內海忠勝氏薨去其他評議員及同父母夫子等逝去の節は本會職員代表者として弔詞を贈り會葬をなさしめたり其他各支部職員逝去の際は相當の職員を代表して會葬を爲したり

▲遊說員派遣　本會主旨擴張の爲め評議員子爵夫人岡部抵子同棚橋絢子、同奧村五百子、遊說員富樫眞喜子同野中彌知子等を靜岡、京都、三重、大分、高知、奈良、和歌山、大阪、岩手、岡山石川、岐阜等各支部下に巡歷せしめたり到る處贊同者多く爲に入會せしもの多數にして好成績を得たり

▲會員數及基本金

一、會員數

現在四十九万五千六百五十八人

內特別會員五萬四千二百九十六人

通常會員四十四萬千六百五十八人

外に贊助員三萬六千五百二人

三十八年度に於て增加せしは特別一萬四千八百七十六人通常十二萬七百十八人合計十三萬五千二百九十八人贊助員七千六百七十六人にして各支部中著しく增加せしは福岡支部一萬千二百九十七人群馬支部一萬千二百七人其他北海道及函館支部六千三百二十八人東京支部五千四百五十八人大分支部四千八百二十三人石川支部四千七百九十八人等なり

一、資金

現在基本金二十九萬六千八百六十圓九十九錢一厘にして三十八年度に於ける增加額は金十五萬千九圓八十九錢一厘にして主として內外國有志の寄附金と會費一時納金贊助員出金に據る外國人にして同情を表せられ寄附せられたるは暹羅國皇太子殿下を始として各國貴紳淑女等にして就中淸國人王化成氏は金壹萬圓を寄附せられたり

●明治卅八年度愛國婦人會會計決算報告

○資本金之部

一、金拾四萬五千七百六拾貳圓八錢壹厘　三十七年度ヨリ繰越金

一、金貳千圓　恩賜金

一、金壹萬六千六拾六圓六拾九錢九厘　海內寄附金

一、金五萬千六拾壹圓參拾九錢七厘　海外寄附金

一、金貳千六百拾八圓八拾五錢四厘　一般贊助納金

一、金四萬五千參百六拾壹圓七拾九錢八厘　東京外三十一支部ヨリ規準外會費納金

一、金參萬貳千貳百五拾六圓七拾錢貳厘　三十八年六月評議員會議ニ依リ會費ヨリ組入

一、金千七百參拾參圓四拾六錢　岡山、愛媛支部卅七年度會費ヘ納金ノ內規準外幷ニ愛媛支部寄附金ニ屬スル分會費ヨリ組入

合計金貳拾九萬六千八百六拾圓九拾九錢壹厘

○用途指定寄附金之部

收入之部

一、金參百七拾貳圓九拾七錢　三十七年度ヨリ繰越金

一、金千五百四拾圓　第四回總會費ヘ寄附金

一、金四拾五錢　卅六年度中ノ過拂返納

合計金千九百拾參圓四拾貳錢

支出之部

一、金千五百四拾圓　第四回總會費ノ內ヘ支出

一、金參百六拾貳圓八拾九錢　金州丸遭難遺族救護金

一、金拾圓五拾參錢　移轉式寄附殘金ニテ備品買入代

合計金千九百拾參圓四拾貳錢

○收支勘定之部

收入之部

一、金拾貳萬五千八百九拾壹圓五拾六錢參厘　三十七年度ヨリ繰越金

一、金拾六萬千五百七拾六圓八拾六錢六厘　會費收納金

一、金拾五萬七百八拾九圓四拾貳錢七厘　各支部納金

此內譯

金壹萬七百八拾七圓四拾參錢九厘　海內外ヨリ本部ヘ直納

一、金壹萬六千五百八拾壹圓貳拾五錢七厘　雜收入

此內譯

金壹萬六千百拾九圓六拾八錢九厘　預金及公債利子

金四百貳拾八圓六拾六錢八厘　徽章再渡代

金參拾貳圓九拾錢　貸間料其他雜入

合計金參拾萬四千四拾九圓六拾八錢六厘

支出之部

一、金四千八百四拾參圓七拾九錢　經常費

此內譯

金參千四百拾五圓五拾九錢　給料手當及賞與共

金四百拾五圓八錢　借地料

金百貳拾圓　廣告料

金百貳拾六圓參拾參錢五厘　筆紙墨料

金貳百七拾參圓六拾六錢　郵便電信費

金五拾九圓八拾四錢　器具費

金貳百參拾六圓七拾四錢五厘　車代

金六拾七圓貳拾參錢　辨當料

金百貳拾九圓五拾壹錢　雜費

一、金四萬五千參拾參圓參拾九錢七厘　臨時費

此內譯

金七千五百九拾壹圓七拾四錢壹厘　印刷費

金貳萬八千貳圓八拾五錢　徽章製作費

金千七百參拾貳圓五拾錢　門標新調費

金參千九百六拾圓六拾六錢六厘　擴張諸費

金千七百圓貳錢　運送費

金百參拾參圓　營繕費

金九拾六圓八拾壹錢　總會費

金千八百拾五圓八拾壹錢　靖國神社大祭接待費

一、金五萬九千九百六拾九圓五錢　救護金

此內譯

金壹萬九千四百拾壹圓　三十八年度定期救護金

金貳千四百七拾五圓　卅七年度附屬臨時救護金

金貳萬四千八百七拾參圓五拾錢　三十八年度臨時救護金

金壹萬參千百八拾圓　三十八年特別救護金

金四百圓　團隊、補助救護

外ニ

一、金三萬貳千貳百五十六圓七拾錢貳厘　三十八年六月評議員會決議ニ依リ基本金ヘ組入

一、金千七百參拾參圓四拾六錢　岡山、愛媛支部卅七年度會費納金ノ內規準外幷ニ愛媛支部寄附金ニ屬スル分基本金ヘ組入

合計金拾四萬參千八百參拾六圓八拾四錢九厘

差引金拾六萬貳百拾貳圓八拾參錢七厘　三十九年度ヘ繰越金

○三十八年度資產負債表

負債之部

一、金貳拾九萬六千八百六拾圓九拾九錢壹厘　基本金

一、金拾六萬二百拾貳圓八拾參錢七厘　本年度剩餘金

合計金四拾五萬七千七拾參圓八拾貳錢八厘

資產之部

一、金貳拾壹萬壹千圓　銀行定期預金

此內

金九萬六千圓　森村銀行預

金參萬圓　十五銀行預

金五萬圓　日本興業銀行預

金參萬五千圓　第三銀行預

一、金八萬八千百拾九圓七拾參錢　銀行當座預

此內

金壹萬四千九百五拾七圓五拾錢　森村銀行預

金壹萬千八百拾四圓七拾七錢　十五銀行預

金壹萬參千七百四拾四圓拾五錢　日本興業銀行預

金四萬七千六百參圓參拾壹錢　第三銀行預

一、金拾五萬八百四拾壹圓七拾錢　公債證劵

一、金拾圓　勸業債劵

一、金五千四百六拾圓　家屋

一、金五百四拾八圓四拾壹錢　什器

一、金千九拾參圓九拾八錢八厘　現在金

合計金四拾五萬七千七拾參圓八拾貳錢八厘

右之通候也

明治三十九年四月

愛國婦人會

會長　岩倉久子
理事　一條悅子
同　德川泰子
同　近衞貞子
同　島津田鶴子
同　毛利安子
同　大山捨松
同　鍋島榮子
同　山內禎子
同　谷玖滿子

右監査を遂げ相違なきことを證す

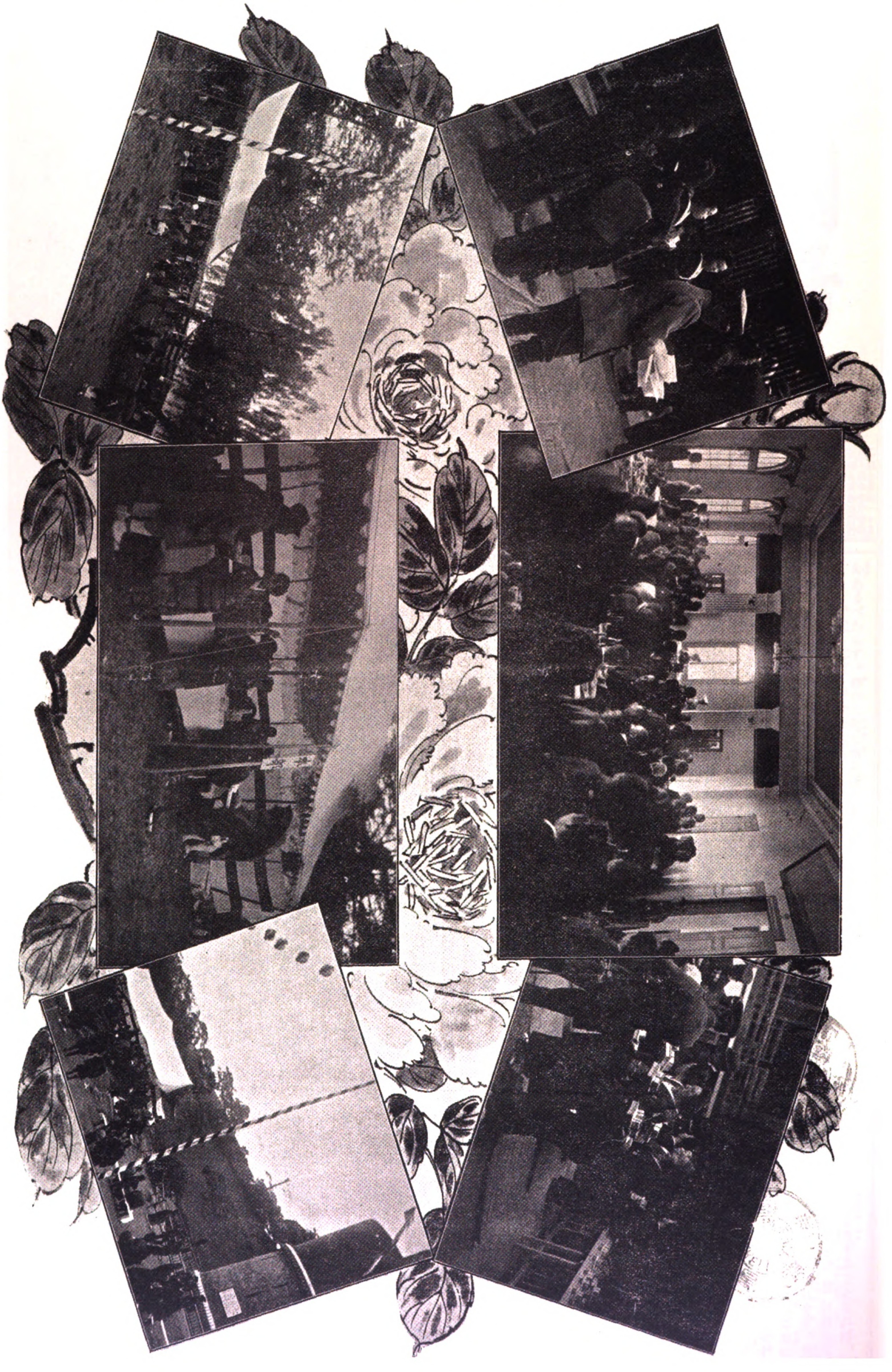
監事　九條惠子
同　三井苞子

▲毎月二回(五日二十日)發行▲定價一部金三錢郵税不要

發行兼印刷人　山澤俊夫　編輯人　手島益雄　發行所　愛國婦人會內愛國婦人發行所　印刷所　株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人第百四號附錄



上部中央 總裁殿下支部顧問（知事）招宴光景

上部左右下部三面は靖國神社臨時大祭に於ける本會職員遺族接待光景

明治三十五年三月二十七日（第三種郵便物認可）
明治三十九年五月廿日發行（毎月二回五日廿日）

發行兼印刷人 山澤俊夫
編輯人 手島益雄
印刷所 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地 株式會社秀英舍第一工場
發行所 愛國婦人會内愛國婦人發行所

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN